

英文講読Ⅰ		通年 2 単位	1年
英文の読み方の訓練		池田 孝一 (いけだ こういち)	
ねらい	教科書を利用して語彙力のつけ方を身につけながら、各種の英文を辞書を引きながら読む力をつける。		
授業計画	【前期】 第1回 Unit 1 - 1 第2回 Unit 1 - 2 第3回 Unit 2 - 1 第4回 Unit 2 - 2 第5回 Unit 3 - 1 第6回 Unit 3 - 2 第7回 Unit 4 - 1 第8回 Unit 4 - 2 第9回 Unit 7 - 1 & 小テスト 第10回 Unit 7 - 2 第11回 Unit 7 - 3 第12回 Unit 8 - 1 第13回 Unit 8 - 2 第14回 前期の復習 第15回 前期試験	【後期】 第1回 Further Reading & Unit 12 - 1 第2回 Unit 12 - 2 & 小テスト 第3回 Unit 13 - 1 第4回 Unit 13 - 2 第5回 Unit 14 - 1 第6回 Unit 14 - 2 第7回 Unit 14 - 3 第8回 Unit 15 - 1 & 小テスト 第9回 Unit 15 - 2 第10回 Unit 17 - 1 第11回 Unit 17 - 2 第12回 Unit 18 - 1 第13回 Unit 18 - 2 第14回 Unit 19 第15回 後期試験	
進め方	毎回テキストを熟読し十分に予習をした上で授業に出席し、質問に答えてもらう。		
テキスト	『語彙力をつける魅力のリーディング』（南雲堂）	参考文献	適宜授業時に指示する。
評価方法	予習と語彙テスト:30% 小テスト:30% 試験:40%		

英文講読Ⅰ		通年 2 単位	1年
英文読解力の基礎育成		梅垣 千尋 (うめがき ちひろ)	
ねらい	語彙の増強からまとまったテキストの読み方まで、英文読解の基本的なスキルを習得し、英文の内容を正確に理解できるようにすることを目標とする。授業で用いるテキストは、現代イギリスの文化と社会を平易な英語で論じたもの。さまざまなトピックスに触れるなかで、広い視野と豊かな教養を身につけてもらうこともねらいのひとつとしたい。		
授業計画	【前期】 第1回 前期イントロダクション 第2回 Londoners Old and New : 多文化社会イギリス (1) 第3回 Londoners Old and New : 多文化社会イギリス (2) 第4回 Upstairs, Downstairs : イギリスの階級 (1) 第5回 Upstairs, Downstairs : イギリスの階級 (2) 第6回 East End, West End : ロンドンの歴史 (1) 第7回 East End, West End : ロンドンの歴史 (2) 第8回 House and Garden : イギリスの住宅事情 (1) 第9回 House and Garden : イギリスの住宅事情 (2) 第10回 Ale, Glorious Ale! : パブの楽しみ方 (1) 第11回 Ale, Glorious Ale! : パブの楽しみ方 (2) 第12回 Hop On, Hop Off : ロンドン観光 (1) 第13回 Hop On, Hop Off : ロンドン観光 (2) 第14回 まとめ 第15回 前期試験	【後期】 第1回 後期イントロダクション 第2回 Year In, Year Out : イギリスのスポーツ (1) 第3回 Year In, Year Out : イギリスのスポーツ (2) 第4回 Shop Till You Drop : ロンドンのファッション (1) 第5回 Shop Till You Drop : ロンドンのファッション (2) 第6回 Crime and Punishment : 犯罪の歴史 (1) 第7回 Crime and Punishment : 犯罪の歴史 (2) 第8回 Winners and Losers : 金融の中心地シティ (1) 第9回 Winners and Losers : 金融の中心地シティ (2) 第10回 College and University : イギリスの学生生活 (1) 第11回 College and University : イギリスの学生生活 (2) 第12回 The Past in the Present : 大英博物館の歴史 (1) 第13回 The Past in the Present : 大英博物館の歴史 (2) 第14回 まとめ 第15回 後期試験	
進め方	テキストにそって英文の訳読、要約、内容把握の確認を行う。全員が毎回必ず予習してくる。また語彙の増強をはかるため、定期的に語彙テストを実施する。		
テキスト	Alan E. Jackson, <i>Eye on London: British Studies for College and University</i> (Macmillan Languagehouse, 2006).	参考文献	必要に応じて授業中に適宜紹介する。
評価方法	出席状況:15% 授業への参加姿勢:15% 語彙テスト:15% 前期・後期の期末試験:55%		

英文講読Ⅰ		通年 2 単位	1年
英文読解の基礎力養成		高野 嘉明 (たかの よしあき)	
ねらい	語彙の増強からまとまったテキストの読み方まで、英文読解の基本的なスキルを習得し、英文の内容を正確に理解できるようになることを目標とします。前期は日本の英語および英語教育、後期は日本の女性や環境などの問題に関する英文を読み、英語の読解力を養成しつつ、現在の日本の諸問題についても考えます。		
授業計画	【前期】 第1回 前期授業のイントロダクション 第2回 Listen up to improve English language study (1) 第3回 Listen up to improve English language study (2) 第4回 Listen up to improve English language study (3) 第5回 Language barrier (1) 第6回 Language barrier (2) 第7回 Language barrier (3) 第8回 English classes to get more English (1) 第9回 English classes to get more English (2) 第10回 Teaching in English (1) 第11回 Teaching in English (2) 第12回 Teaching in English (3) 第13回 How to acquire skills in English (1) 第14回 How to acquire skills in English (2) 第15回 前期定期試験	【後期】 第1回 後期授業のイントロダクション 第2回 Steps needed to increase female researchers (1) 第3回 Steps needed to increase female researchers (2) 第4回 Gender-equal society (1) 第5回 Gender-equal society (2) 第6回 Gender-equal society (3) 第7回 Sustainable lifestyles gaining popularity (1) 第8回 Sustainable lifestyles gaining popularity (2) 第9回 Sustainable lifestyles gaining popularity (3) 第10回 British photographer in Japan (1) 第11回 British photographer in Japan (2) 第12回 British photographer in Japan (3) 第13回 Annie' s mailbox (1) 第14回 Annie' s mailbox (2) 第15回 後期定期試験	
進め方	各ユニットごとに、まず英文の内容を理解し、次にその英文中に出てきた基本的で重要な文法事項を確認し、最後に英文中の単語を利用して語彙力の増強を図ります。また英文の内容についての意見交換もします。		
テキスト	テキストは使用せず、プリントを配布します。	参考文献	必要があれば授業中に紹介します。
評価方法	出席:30% 授業への参加度:20% 前・後期定期試験:50%		

英文講読Ⅰ		通年 2 単位	1年
英文読解の基礎力の養成		松村 伸一 (まつむら しんいち)	
ねらい	語彙の増強からまとまったテキストの読み方まで、英文読解の基本的なスキルを習得し、英文の内容を正確に理解できるようになることを目標とする。		
授業計画	【前期】 第1回 イン트로ダクション 第2回 Unit 1. 現在のリーディング力を診断する 第3回 Unit 2. プレ・リーディングスキルを磨く 第4回 Unit 3. 重要情報・概念(メイン・アイデア)を理解する 第5回 Unit 4. 詳細情報を理解する 第6回 Unit 5. アイデアの結びつきを談話標識から理解する 第7回 Unit 6. 指示語が誰を示すか、何を示すかを把握する 第8回 Unit 7. パラグラフ構造: 「比較と対照」を学ぶ 第9回 Unit 8. パラグラフ構造: 「原因と結果」を学ぶ 第10回 Unit 9. パラグラフ構造: 「時間順序」を学ぶ 第11回 Unit 10. パラグラフ構造: 「空間順序」を学ぶ 第12回 Unit 1~10のまとめと応用 第13回 Unit 11. 重要な情報を「要約」するストラテジーを磨く 第14回 Unit 12. 必要な情報を素早く把握するストラテジーを磨く 第15回 前期試験	【後期】 第1回 前期の復習と後期へのイントロダクション 第2回 Unit 13. 視覚的な情報を効果的に使用する 第3回 Unit 14. 登場人物の心情や場面の状況を読み取る 第4回 Unit 15. 予測しながら楽しく読む 第5回 Unit 16. 批評読み1: 「事実」と「意見」を区別する 第6回 Unit 17. 批評読み2: 明示情報から結論を導き出す 第7回 Unit 18. 批評読みを超えた英文の楽しさを感じる 第8回 Unit 19. 英文記事の見出しを理解する 第9回 Unit 20. 現在のリーディング力を診断する 第10回 応用: 物語を読む1 第11回 応用: 物語を読む2 第12回 応用: エッセイを読む 第13回 応用: 論説文を読む 第14回 Review Session 第15回 後期試験	
進め方	前期は、基礎的な文法知識の確認、構文把握力の養成、パラグラフ構成の理解など、読解の基本的な技法を学ぶ。後期は、より実践的に、一定の長さの英文を読む技術を磨く。年間を通じて、語彙力の養成に力を注ぐ。さまざまな学習活動が盛り込まれるが、適宜指示するのでそれに従うこと。予習は必須。毎回の授業時間を有意義に用いること。		
テキスト	卯城祐司、中川知佳子、Mari Le Pavoux, <i>Reader' s Ark -- 20 Treasures of Effective Reading Techniques</i> (金星堂)	参考文献	
評価方法	小テスト(毎回):50% 定期試験(2回):50%		

英文講読 I		通年 2 単位	1年
英文読解パワーアップ講座		宮内 華代子 (みやうち かよこ)	
ねらい	語彙の増強からまとまったテキストの読み方まで、英文読解の基本的なスキルを習得し、英文の内容を正確に理解できるようになることを目的とする。		
授業計画	【前期】 第1回 インTRODakション、年間授業計画 第2回 I have a dream 第3回 The Gettysburg Address 第4回 Julius Caesar 第5回 The Red-Headed League 第6回 The Great Gatsby 第7回 The Poratrait of a Lady 第8回 Lady Chatterley's Lover 第9回 Lady Chatterley's Lover 第10回 Silent Spring 第11回 Alice's Adventures in Wonderland 第12回 The Adventures of Huckleberry Finn 第13回 The Adventures of Huckleberry Finn 第14回 R e v i e w 第15回 前期定期試験	【後期】 第1回 Daddy-Long-Leg 第2回 Robinson Crusoe 第3回 Gulliver's Travel 第4回 The Diary of a Young Girl 第5回 The Diary of a Young Girl 第6回 The Principal's Address to the Graduates 第7回 The Principal's Address to the Graduates 第8回 The Book of Tea 第9回 The Book of Tea 第10回 Bushido 第11回 The Old Man and the Sea. 第12回 Reading 第13回 Reading 第14回 Review 第15回 後期定期試験	
進め方	毎回の語彙テストの解答・解説、2冊のテキストに沿ってreadingの正確な読み取り、練習問題の答え合わせを行う。随時、小テストを行う。		
テキスト	愛の諸相 (朝日出版社) 音読王 (小学館)	参考文献	随時紹介
評価方法	前後期定期試験:50% 出席:10% 小テスト:20% 平常点:20%		

英文講読 I		通年 2 単位	1年
英文読解の基礎確認		山田 美穂子 (やまだ みほこ)	
ねらい	語彙の増強からまとまったテキストの読み方まで、英文読解の基礎的なスキルを習得し、英文の内容を正確に理解できるようになることを目標とする。		
授業計画	【前期】 第1回 1課 第2回 1課 続き 第3回 2課 第4回 2課 続き 第5回 3課 第6回 3課 続き 第7回 4課 第8回 4課 続き 第9回 5課 第10回 5課 続き 第11回 6課 第12回 6課 続き 第13回 7課 第14回 7課 続き 第15回 前期期末試験	【後期】 第1回 8課 第2回 8課 続き 第3回 9課 第4回 9課 続き 第5回 10課 第6回 10課 続き 第7回 11課 第8回 11課 続き 第9回 12課 第10回 12課 続き 第11回 13課 第12回 13課 続き 第13回 14課 第14回 14課 続き 第15回 後期期末試験	
進め方	日英の比較文化をテーマとした本文を読み解き、各章ごとに基礎的な文法と構文を復習する。CD教材でリスニングをしながら学生に段落ごとの要約をさせ、内容を確認。その後に練習問題を通じて理解度を確認する。また毎週語彙テストを実施。原則として教育実習による欠席のみ、代理の課題提出を認める。		
テキスト	『日英おもしろ文化比較 Step Up to Better English』 (朝日出版社、2009年)	参考文献	必要に応じて授業中に紹介する予定。
評価方法	前後期の期末テスト:50% 語彙テスト:50%		

英文講読Ⅱ		通年 2 単位	2年
アメリカの今を読む		江崎 聡子 (えざき さとこ)	
ねらい	日本アニメの需要と受容、インターネット中毒、生命倫理、加熱する大学入試等、主に現代アメリカの社会や文化、そして日本との関係について書かれた多彩な英文テキスト(エッセイ、小説、新聞記事等)に触れることによって、現代のアメリカ事情の理解を深める。また同時に多様な種類のテキストを読むことによって読解能力の向上をめざす。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 Topic 1-1 第3回 Topic 1-2 第4回 Topic 1-3 第5回 Topic 3-1 第6回 Topic 3-2 第7回 Topic 3-3 第8回 Topic 6-1 第9回 Topic 6-2 第10回 Topic 6-3 第11回 Topic 7-1 第12回 Topic 7-2 第13回 Topic 7-3 第14回 予備日 第15回 期末試験	【後期】 第1回 ガイダンス (前期期末試験の返却と復習) 第2回 Topic 10-1 第3回 Topic 10-2 第4回 Topic 10-3 第5回 Topic 17-1 第6回 Topic 17-2 第7回 Topic 17-3 第8回 Topic 18-1 第9回 Topic 18-2 第10回 Topic 18-3 第11回 Topic 19-1 第12回 Topic 19-2 第13回 Topic 19-3 第14回 予備日 第15回 期末試験	
進め方	基本的には講読の授業形態をとり、受講者のみなさんに和訳をしていただく。ペースとしては、数回の授業で一章を読みきる予定である。章末の練習問題や、内容確認プリントも含め、十分な予習が授業参加の前提となる。		
テキスト	Multiple Voices from around the World (朝日出版社、2003年) 九頭見一士／夏目博明／川口悦／北川依子編著	参考文献	授業中に適宜紹介する。
評価方法	試験:60% 出席:15% 授業態度:25%		

英文講読Ⅱ		通年 2 単位	2年
コラムを通して読みとるアメリカ社会		遠藤 恵子 (えんどう けいこ)	
ねらい	Chicago Tribune紙に載せられたBob Greenのコラムを読む。著者は社会のさまざまな人々を淡々と描くが、その行間から読み取れるまなざしは時に厳しく、時に暖かい。コラムを読むことは、そこに描かれた人々の生活を理解する事である。単なる英文和訳ではなく自分の解釈で英文を理解する力を養いたい。後期は様々な英文に触れる機会をもちた		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス R. I. P. Blinky (コピー) 第2回 R. I. P. Blinky 第3回 R. I. P. Blinky 第4回 Baseball and the Facts of Life 第5回 Baseball and the Facts of Life 第6回 Baseball and the Facts of Life 第7回 テスト 第8回 Getting to the Heart of a Man Named Veeck 第9回 Getting to the Heart of a Man Named Veeck 第10回 Getting to the Heart of a Man Named Veeck 第11回 Grif 第12回 Grif 第13回 Grif 第14回 Grif 第15回 テスト	【後期】 第1回 Captain of His Ship 第2回 Captain of His Ship 第3回 Captain of His Ship 第4回 Three Days to See (コピー) 第5回 Three Days to See 第6回 Three Days to See 第7回 テスト 第8回 Is There a Sant Clause? (コピー) 第9回 Is There a Santa Clause? 第10回 Is There a Santa Clause? 第11回 Is There a Santa Clause? 第12回 Cut 第13回 Cut 第14回 Cut 第15回 テスト	
進め方	予習の時辞書をひいて単語を調べて日本語に訳したけれども、何を言っているのか全々わからないということをよくききます。基本的なこと、つまり代名詞のさすものや文脈に応じた単語の意味、文型などをおさえた上で、英文を理解して訳すとそのようなことはなくなります。毎回全員が一回は当たります。積極的に授業に臨んでください		
テキスト	American Beat(開文社)、コピー(授業中に配布)	参考文献	必要に応じて紹介します。
評価方法	テスト:90% 平常点(出席含む):10%		

英文講読Ⅱ		通年 2 単位	2年
英文の理解と味読		中嶋 幸子 (なかじま ゆきこ)	
ねらい	英文の読解力を質的にも量的にも高めることを目指します。どのような文章に接しても、それぞれに応じて、その特徴を迅速に理解し、その内容を的確に読みとることのできる、柔軟な読解力を養いたい。文法や語彙の説明、確認も行いますが、その先の、内容の十分な理解を重視します。		
授業計画	【前期】 第1回 "The Discovery" 第2回 "The Discovery" 第3回 "The Discovery" 第4回 "The Discovery" 第5回 "The Discovery" 第6回 ニュース記事—プリントを配布 第7回 "The Mortmain" 第8回 "The Mortmain" 第9回 "The Mortmain" 第10回 "The Mortmain" 第11回 "The Mortmain" 第12回 "The Mortmain" 第13回 "The Mortmain" 第14回 "The Mortmain" 第15回 定期試験	【後期】 第1回 "Goodnight, Old Daisy" 第2回 "Goodnight, Old Daisy" 第3回 "Goodnight, Old Daisy" 第4回 "Goodnight, Old Daisy" 第5回 "Goodnight, Old Daisy" 第6回 "Goodnight, Old Daisy" 第7回 "Goodnight, Old Daisy" 第8回 ニュース記事を読む—プリント配布 第9回 "The View" 第10回 "The View" 第11回 "The View" 第12回 "The View" 第13回 ニュース記事を読む—プリント配布 第14回 ニュース記事を読む—プリント配布 第15回 定期試験	
進め方	毎回のていねいな予習が前提です。授業は、英文の訳読が中心となりますが、文章を音読して英語の発音も確認します。また、訳読に先立って、ページ毎の大意の要約や、テキストの朗読を聴いてのリスニングコンプリヘンションを行います。担当者による訳読、説明やコメントの発表の他に、内容の確認と読み込みを深めるための質問に答えてもらいます。		
テキスト	D. Lessing, D. V. Baker, et al., <i>Innocence, Maturity and Death</i> (南雲堂) .	参考文献	
評価方法	定期試験:60% 平常点:30% 出席:10%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
パラグラフ・ライティング入門		内田 有紀 (うちだ ゆうき)	
ねらい	それぞれ関心を持っているトピックについて書くことを繰り返しながら、パラグラフ・ライティングの基礎を学んでいきたいと思っています。まずは英語を書くという行為に慣れること、それから構成のしっかりした英文とは何かという問題について繰り返し考えながら、少しずつそれに近づいていきたいと思っています。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス、書くための道具、パラグラフ、自己紹介文 第2回 ブレイン・ストーミングとアウトライン (課題1) 第3回 書く際の注意、ドラフティング (課題1) 第4回 課題1の提出、文法・クリニック、訂正のサイン 第5回 ブレイン・ストーミングとアウトライン (課題2) 第6回 ドラフティング (課題2) 第7回 ビア・レビューとリビジョン (課題2) 第8回 課題2の提出、文法・クリニック、複数のパラグラフ 第9回 ブレイン・ストーミングとアウトライン (課題3) 第10回 ドラフティング (課題3) 第11回 ビア・レビューとリビジョン (課題3) 第12回 課題3の提出、文法・クリニック 第13回 課題を発表する 第14回 課題を発表する (続き) 第15回 課題を発表する (続き)	【後期】 第1回 ブレイン・ストーミングとアウトライン (課題5) 第2回 ドラフティング (課題5) 第3回 ビア・レビューとリビジョン (課題5) 第4回 課題5の提出、文法・クリニック 第5回 ブレイン・ストーミングとアウトライン (課題6) 第6回 ドラフティング (課題6) 第7回 ビア・レビューとリビジョン (課題6) 第8回 課題6の提出、文法・クリニック 第9回 ブレイン・ストーミングとアウトライン (課題7) 第10回 ドラフティング (課題7) 第11回 ビア・レビューとリビジョン (課題7) 第12回 課題7の提出、文法・クリニック 第13回 課題を発表する 第14回 課題を発表する (続き) 第15回 課題を発表する (続き)	
進め方	課題ごとにサンプルとなる例文を読み、目的とやり方を解説してから、実際にライティングの作業を行なってもらいます。それぞれの作業の途中経過を確認しながら、より良くするための提案を行ないます。課題の仕上げは宿題としてやってもらうこともあります。出来上がった課題には添削とコメントを加えます。授業計画は状況に応じて変化します。		
テキスト	Yoshihito Sugita and Richard R. Caraker, <i>Primary Course on Paragraph Writing</i> . 成美堂	参考文献	適宜、指示します。和英辞典は毎回持参すること。
評価方法	出席状況:20% 授業への参加態度:40% 課題:40%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
基本英文を覚えて活用する。		遠藤 恵子 (えんどう けいこ)	
ねらい	基本的な文法事項を確認し様々な種類の英文を学びながら、日本語と英語の表現の違いを知る。基本的な英文を確実に覚えその英文を変える事で、自分の考えや伝えたい事を表現する力を養う。paragraphについても学び、演習を通してparagraphを書く練習をする。		
授業計画	【前期】 第1回 授業の進め方について 認知構文入門 第2回 認知構文入門 第3回 時制 第4回 時制 第5回 人間主語構文 第6回 人間主語構文 第7回 paragraphについて説明 演習 第8回 無生物主語構文 第9回 無生物主語構文 第10回 名詞構文 関係詞 第11回 名詞構文 関係詞 第12回 冠詞 第13回 冠詞 第14回 まとめ 第15回 テスト	【後期】 第1回 助動詞 “It”構文 第2回 助動詞 “It”構文 第3回 否定形 比較 第4回 否定形 比較 第5回 仮定法 第6回 仮定法 第7回 paragraph演習 第8回 受動態 第9回 受動態 第10回 不定詞・動名詞 第11回 不定詞・動名詞 第12回 不定詞・動名詞 第13回 演習 第14回 まとめ 第15回 テスト	
進め方	テキストにそって文法の復習をしながら問題演習を行います。復習をかね、前の時間に学んだ英文を使って授業中に行う英作の小テストが毎回あります。(覚えた英文を使って教科書とは違う文章を書いてきます。)演習の時間はparagraphについて学び、資料にそって実際に書く練習をします。辞書は必ず持ってきてください。		
テキスト	Communicative English Composition (Ynmi Press)	参考文献	Paragraph Writing (コピー配布) その他必要に応じて紹介します。
評価方法	小テスト:60% 演習レポート:30% 出席:10%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
パラグラフの書き方		斎藤 協子 (さいとう きょうこ)	
ねらい	英語で文章を書くときの基礎となるパラグラフの構成を学びます。書くこと、話すことの両面から表現する訓練を重ねながら、自分の考えを明確に表現できるパラグラフが書けるようになることを目的にします。		
授業計画	【前期】 第1回 Introduction of the Class & Dictocomp 第2回 Explanation of a Paragraph 第3回 Topic Sentence 第4回 Concluding Sentence 第5回 Characteristics of a Good Paragraph (1) 第6回 Characteristics of a Good Paragraph (2) 第7回 Descriptive Paragraphs・Assignment 第8回 Punctuation (1) 第9回 Discussion on the Assignment 第10回 Narrative Paragraphs・Assignment 第11回 Punctuation (2) 第12回 Discussion on the Assignment 第13回 Illustration Paragraphs 第14回 Writing in Class 第15回 前期定期試験	【後期】 第1回 Discussion on the paragraphs of the Exam 第2回 Transitions (1) 第3回 Transitions (2) 第4回 Comparison Paragraphs 第5回 Contrast Paragraphs・Assignment 第6回 Exercises on Transitions and Punctuations 第7回 Discussion on the Assignment 第8回 Personal Opinion Paragraphs 第9回 Writing in Class 第10回 Discussion on the Writings of the Previous Week 第11回 Text of the Video 第12回 Watching the video in Class・Assignment 第13回 Writing in Class 第14回 Discussion on the Assignment 第15回 後期定期試験	
進め方	毎時間授業の始めに、英語で読まれる短いストーリーを聞き、それを自分の英語で書く練習をします(dictocomp)。その時、口頭でストーリーを再現する練習もします(oral reproduction)。パラグラフについては、様々なトピックでパラグラフを書き、その中から幾つかをクラスで取り上げ、皆で検討していきます。		
テキスト	S. K. Kitao他, Writing English Paragraphs (パラグラフ英作文) (英潮社新社)	参考文献	
評価方法	宿題・課題:70% 前期・後期試験:30%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
効果的なパラグラフの書き方		下澤 礼子 (しもざわ れいこ)	
ねらい	英語での論理的思考や表現を学びながら、さまざまなパラグラフが書けるようになることを目的とします。		
授業計画	【前期】 第1回 Introductions: "About Myself" 第2回 The Writing Process 第3回 Paragraph (1) 第4回 Paragraph (2) 第5回 Topic Sentence (1) 第6回 Topic Sentence (2) 第7回 Supporting Sentences (1) 第8回 Supporting Sentences (2) 第9回 Time Order (1) 第10回 Time Order (2) 第11回 Space Order (1) 第12回 Space Order (2) 第13回 Process and Direction (1) 第14回 Process and Direction (2) 第15回 定期試験	【後期】 第1回 Cause and Effect (1) 第2回 Cause and Effect (2) 第3回 Examples (1) 第4回 Examples (2) 第5回 Definition (1) 第6回 Definition (2) 第7回 Classification (1) 第8回 Classification (2) 第9回 Comparison and Contrast (1) 第10回 Comparison and Contrast (2) 第11回 Presentations (1) 第12回 Presentations (2) 第13回 Presentations (3) 第14回 Review 第15回 定期試験	
進め方	テキストに沿って、さまざまなパラグラフについて学びながら、授業内外の課題を通して書く作業を進めます。質の高いアウトプット（パラグラフ）には、質の高いインプットが必要となるため、英語の他の3技能を多角的に高めるアクティビティーにも取り組めます。授業では毎回、語彙テスト、journal writing, silent readingも実施します。		
テキスト	<i>Get Your Message Across</i> (南雲堂)	参考文献	週刊ST、英和和英辞典（可能ならば英英辞典も入っている電子辞書）を毎回持参
評価方法	定期試験:30% 課題提出・語彙テスト:40% 授業への参加:20% 出席:10%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
英語での自己表現		田村 道子 (たむら みちこ)	
ねらい	話したい、書きたい事があっても十分な英語力がないため相手に伝わらない現状を踏まえ、基本的な文法知識を確認しながら作文力を向上させ、やがてはエッセイを書く時に役立つパラグラフ単位の作文が出来る様にする		
授業計画	【前期】 第1回 授業の進行の説明、自由作文 第2回 文の種類1 第3回 文の種類2 第4回 動詞の種類と文型1 第5回 動詞の種類と文型2 第6回 動詞 時制 第7回 助動詞 第8回 受動態 第9回 名詞 第10回 代名詞 第11回 冠詞と数詞 第12回 代名詞 第13回 接続詞 第14回 前置詞 第15回 期末テスト	【後期】 第1回 自由英作文 第2回 形容詞 第3回 副詞 第4回 ミニテスト 第5回 比較 第6回 不定詞 第7回 ミニテスト 第8回 分詞1 第9回 分詞2 第10回 動名詞 第11回 関係詞 第12回 家庭法 第13回 時制の一致と話法 第14回 まとめと復習 第15回 期末テストまたはレポート	
進め方	教科書の他に復習用としてプリントを配布し自習してもらい答え合わせをする。教科書は予習を前提の授業をする。予習復習は必須。原則として2章毎にミニテスト。後半は英文のエッセイの書き方も学ぶ。		
テキスト	「大学生のための総合英語」南雲堂書店	参考文献	英和和英の辞書を持参の事、電子辞書も可
評価方法	出席:10% ミニテスト:20% 予習と発表:10% 提出物:10% レポートまたは期末テスト(未定):50%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
コミュニケーションのための英語表現を学ぶ		長谷川 淳一（はせがわ じゅんいち）	
ねらい	英語の語順や文構造を確認しながら、自分の意思を英語できちんと書く方法を学ぶ。		
授業計画	【前期】	【後期】	
	第1回 Weather and Climate 第2回 Weather and Climate 第3回 Daily Life 第4回 Daily Life 第5回 Campus Life 第6回 Campus Life 第7回 Music 第8回 Music 第9回 Studies 第10回 Studies 第11回 Newspapers and Magazines 第12回 Newspapers and Magazines 第13回 Shopping 第14回 Shopping 第15回 前期試験	第1回 Eating Out 第2回 Eating Out 第3回 Sports and Watching Sporting Events 第4回 Sports and Watching Sporting Events 第5回 Computers 第6回 Computers 第7回 Telephone 第8回 Telephone 第9回 Traveling Abroad 第10回 Traveling Abroad 第11回 Movies 第12回 Movies 第13回 Health and Exercise 第14回 Health and Exercise 第15回 後期試験	
進め方	身の回りの話題について取り上げた演習問題を通して、英語の語順や文構造を学んでいくテキストを使用する。具体的には、日本語と英語の文構造の相違を比較しながらのライティング演習と演習問題に関係のある基本的な文法事項の再確認をする。なお、進捗状況によっては、授業内容が多少変更することもある。		
テキスト	「日常表現で学ぶ英語の語順」（朝日出版社）	参考文献	随時、授業中に紹介する。
評価方法	出席率:30% 定期試験:50% 平常点:20%		

英語表現法		通年 2 単位	1年
文法項目タスク中心の英語表現法		宮内 華代子（みやうち かよこ）	
ねらい	英文法の習熟をはかり、発信型の英語の書き方を徹底的に学ぶ		
授業計画	【前期】	【後期】	
	第1回 イントロダクション 第2回 主語の選択 第3回 主語の選択 第4回 名詞（1） 第5回 名詞（1） 第6回 代名詞 第7回 代名詞 第8回 形容詞（1） 第9回 形容詞（1） 第10回 副詞 第11回 副詞 第12回 比較 第13回 比較 第14回 Review 第15回 前期定期試験	第1回 時制 第2回 時制 第3回 態 第4回 態 第5回 不定詞 第6回 不定詞 第7回 接続詞 第8回 接続詞 第9回 関係詞 第10回 関係詞 第11回 仮定法 第12回 仮定法 第13回 語順 第14回 Review 第15回 後期定期試験	
進め方	2冊のテキストに沿って、講義、学生の発表・演習を行う。英文法の必須事項を取り上げた問題に取り組み、様々なトピックに関する模範英文を読んで、作文力増強に役立つ色々な形式の練習問題に答える。毎回小テストを実施。		
テキスト	<i>A Shorter Course in Basic Sentences</i> /(南雲堂) <i>Writing Updates</i> /(金星堂)	参考文献	随時紹介
評価方法	前後期定期試験:60% 出席:20% 平常点・小テスト:20%		

Introductory College English I	通年 2 単位	1年
Listening and Speaking		
<p>【担当教員】 オクマ (OKUMA, G. S.)、カーン (KERN, D. L.)、サノ (SANO, K. M.)、シミズ (SHIMIZU, M. M.)、フィリップス (PHILLIPS, J. R.)、ホワイト (WHYTE, D. W.)、マーフィー (MURPHY, D. F.)、リムスコグ (RIMSKOG, Christa) ねらい</p> <p>This course aims to improve students' listening and speaking skills in an efficient way. The course is designed around a core vocabulary of 240 essential words. This vocabulary is incorporated into homework and class work exercises that focus on topics familiar and interesting to students. In order to make the most of classroom time, homework will focus on listening, and the class will focus on communicative exchanges between and among students.</p> <p>授業計画 First Semester Week 1 Course Goals and Objectives Week 2 Unit 1: Talking about Introductions Week 3 Unit 2: Talking about Family Week 4 Unit 3: Talking about Movies Week 5 Unit 4: Talking about Directions Week 6 Becoming an independent learner; Review; Prepare for Test 1 Week 7 Test 1 Week 8 Unit 5: Talking about Travel Week 9 Unit 6: Talking about Recipes Week 10 Unit 7: Talking about Health Week 11 Unit 8: Talking about Making a Speech Week 12 Review; Prepare for Test 2 Week 13 Test 2</p> <p>Second Semester Week 14 Summer Vacation Speeches Week 15 Unit 9: Talking about Music Week 16 Unit 10: Talking about Friends Week 17 Unit 11: Talking about Money and Jobs Week 18 Unit 12: Talking about Superstitions Week 19 Expressing Opinions; Review; Prepare for Test 3 Week 20 Test 3 Week 21 IP TOEIC Listening Week 22 Unit 13: Talking about Sports Week 23 Unit 14: Talking about the News Week 24 Unit 15: Talking about Fashion Week 25 Unit 16: Talking about the Past and Future Week 26 One-minute presentations; Review; Prepare for Test 4 Week 27 Test 4</p> <p>進め方 Each week, you will practice dictation, listening comprehension and discussion with a partner and in small groups. In addition, you will do homework each week consisting of vocabulary and listening exercises. There will also be TOEIC quizzes designed to help you improve your score on the TOEIC and vocabulary quizzes to help you remember new words.</p> <p>テキスト Booklet</p> <p>評価方法 Your grade for this course will be based on the following: Tests 50% テストの点数は、4回のテスト結果を高得点順にして、その上位3つの平均点になります。 Participation/Homework 20% Vocabulary Quizzes 20% presentations and Speeches 10%</p> <p>授業には出席しなければなりません。欠席すると成績は下がります。授業に20分以上遅刻すると「欠席」の扱いになります。20分未満の遅れは「遅刻」になります。「遅刻」を3回すると1回の「欠席」の扱いになります。出席が全授業回数の3分の2に満たない場合はこの授業の成績は「不合格」となります。</p>		

Introductory College English II	通年 2 単位	1年
Writing		
【担当教員】		
ヴァシリエヴィッチ (VASILJEVIC, Z.)、オクマ (OKUMA, G. S.)、カリガン (CULLIGAN, B. A.)、サノ (SANO, K. M.)、ハンドイエ ヴァウエラー (HANDJEVA-WELLER,)、フィリップス (PHILLIPS, J. R.)、ペンゴスロ (PENGOSRO, E. K.)、ホワイト (WHYTE, D. W.)、マーフィー (MURPHY, D. F.)、リムスコグ (RIMSKOG, Christa)		
ねらい		
In this course, you will focus on writing paragraphs. By the end of the course, you will be able to write several styles of paragraphs on a variety of topics. You will focus on form, with a particular emphasis on the nature of a paragraph, the topic sentence, supporting sentences, the concluding sentence, transitions, unity, and sentence combining.		
授業計画		
First Semester		
Week 1	Teacher and Course Introduction; Outline and Paragraph Format	
Week 2	Simple and Compound Sentences; Coordinating Conjunctions	
Week 3	3 Parts of a Paragraph; Topic Sentences; Paragraph Unity	
Week 4	Supporting Sentences; Concluding Sentences; Outlines	
Week 5	Sample Test; Transition Signals; Outlines	
Week 6	Test 1	
Week 7	Time-Order Outline and Paragraph; Adjectives and Adverbs	
Week 8	Additional work on Outlines; Concluding Sentences	
Week 9	Space Order Outline and Paragraph; Error Paragraph 1	
Week 10	Rewriting; Space Order	
Week 11	Rewriting; Error Paragraph 2	
Week 12	Review	
Week 13	Test 2	
Second Semester		
Week 14	Listing Order (Process) Outline and Paragraph; Transition Signals	
Week 15	Listing Order (Comparison) Outline and Paragraph; Error Paragraph 3	
Week 16	Clauses and Subordinate Conjunctions; Complex Sentences and Fragments	
Week 17	Paragraph Writing	
Week 18	Stating Reasons and Giving Examples; Review Listing Order Paragraphs	
Week 19	Test 3	
Week 20	Opinion Outline and Paragraph; Facts and Opinions	
Week 21	Opinion Paragraph and Opinion Transition Signals	
Week 22	Introduction to Opinion/Reaction Paragraph; Paraphrasing Exercises	
Week 23	Opinion/Reaction Main-Point Questions; Error Paragraph 4; Paragraph Writing	
Week 24	Main-Point Questions; Topic Sentences; Opinion/Reaction Outline	
Week 25	Peer Review on Opinion/Reaction Paragraph	
Week 26	Paragraph Writing/Test Preparation; Course Evaluation	
Week 27	Test 4	
進め方		
You will explore the writing process through the techniques of brainstorming, narrowing a topic, outlining, sequencing, and providing evidence and examples. For weekly homework, you will write an outline and/or a paragraph based on a topic sentence set by your teacher. Your teacher will correct your work and return it; you will rewrite the paragraph based on your teacher's comments and corrections.		
テキスト		
First Steps in Academic Writing		
Booklet		
評価方法		
Your grade for this course will be based on the following:		
Tests 50% テストの点数は、4回のテスト結果を高得点順にして、その上位3つの平均点になります。		
Paragraph Assignments 40%		
Homework and Class Participation 10%		
Paragraphs and outlines must be handed in on time. Late paragraphs and outlines will receive a grade of zero.		
授業には出席しなければなりません。欠席すると成績は下がります。授業に20分以上遅刻すると「欠席」の扱いになります。20分 未満の遅れは「遅刻」になります。「遅刻」を3回すると1回の「欠席」の扱いになります。出席が全授業回数の3分の2に満たない 場合はこの授業の成績は「不合格」となります。		

Introductory College EnglishIII	通年 2 単位	1年
Reading		
<p>【担当教員】 ヴァシリエヴィッチ (VASILJEVIC, Z.)、オクマ (OKUMA, G. S.)、カリガン (CULLIGAN, B. A.)、カーン (KERN, D. L.)、サノ (SANO, K. M.)、ハンドイエヴァウエラー (HANDJEVA-WELLER,)、ペンゴスロ (PENGOSRO, E. K.)、マーフィー (MURPHY, D. F.)、リムスコグ (RIMSKOG, Christa)</p> <p>ねらい In this course, you will participate in a student-centered process approach to develop your reading skills. You will learn specific reading strategies, including skimming and scanning, previewing and predicting, guessing meanings of unknown words in context, making inferences, and identifying main ideas and patterns of organization. You will also do extensive reading exercises. During extensive reading, you will apply your developing reading skills by selecting and reading books that match your interests. Finally, you will practice speed-reading to develop accuracy and fluency. Your reading speed will increase through timed readings of passages controlled for vocabulary and sentence structure.</p> <p>授業計画 First Semester Week 1 Introduction Week 2 Speed Reading and Skimming Week 3 Scanning and Thinking Skills Week 4 Previewing and Predicting Week 5 Making Predictions and Guessing Word Meaning Week 6 Review Week 7 Test 1 Week 8 Looking for the Topic Week 9 Skimming and Review Week 10 Pronouns and Synonyms Week 11 Synonyms and Reading Comprehension Week 12 What is a Paragraph? Review For Test 2 Week 13 Test 2</p> <p>Second Semester Week 14 What is the Topic and Main Idea? Week 15 Patterns of Organization Week 16 Paragraph Pattern - Listing Order Week 17 Paragraph Pattern - Cause and Effect Week 18 Skimming and Scanning Review Week 19 Test 3 Week 20 Paragraph Pattern - Time Order Week 21 IP TOEIC Reading Section Week 22 Paragraph Pattern- Comparison/Contrast Week 23 Speech Contest 2nd period; PM classes: Book Discussion 'Cries from the Heart' Week 24 Book Discussion 'Cries from the Heart' Week 25 Making Inferences Week 26 Making Inferences (continued) Week 27 Test 4</p> <p>進め方 Each week, you will practice reading exercises of three types, namely: extensive reading, reading skills and speed-reading.</p> <p>テキスト Booklet</p> <p>評価方法 Your grade for this course will be based on the following: Tests 70% テストの点数は、4回のテスト結果を高得点順にして、その上位3つの平均点になります。 Graded Reader Reports 20% Attendance Participation and Homework 10%</p> <p>授業には出席しなければなりません。欠席すると成績は下がります。授業に20分以上遅刻すると「欠席」の扱いになります。20分未満の遅れは「遅刻」になります。「遅刻」を3回すると1回の「欠席」の扱いになります。出席が全授業回数の3分の2に満たない場合はこの授業の成績は「不合格」となります。</p>		

Intermediate College English	通年 2 単位	2年
INCH		
<p>【担当教員】 オクマ (OKUMA, G. S.)、カーン (KERN, D. L.)、サノ (SANO, K. M.)、シミズ (SHIMIZU, M. M.)、ハンドイエヴァウエラー (HANDJEVA-WELLER,)、ペンゴスロ (PENGOSRO, E. K.)、ホワイト (WHYTE, D. W.)、マーフィー (MURPHY, D. F.)、リムスコグ (RIMSKOG, Christa)</p> <p>ねらい In this course, you will make use of the English you already know and continue to develop the reading and discussion skills you learned last year. During the year, you will concentrate on four broad issues that face the world today. Each week, you will read in depth one or more articles relating to a particular issue. You will then prepare to discuss the questions raised by this article in class. For each of the four broad areas covered, you will be responsible for finding a related article and summarizing and explaining it, and your opinions on it, to your classmates.</p> <p>授業計画 First Semester Week 1 Introduction - Minamata Week 2 Minamata Week 3 Water Week 4 Water - Fast Food Week 5 Fast Food Week 6 Unit 1 - News Report Presentations Week 7 Comprehension Test 1 - Discussion Test 1 Week 8 Parasite Singles Week 9 Parasite Singles - Charity Week 10 Charity - HIV/AIDS Week 11 HIV/AIDS Week 12 Unit 2 - News Report Presentations Week 13 Comprehension Test 2 - Discussion Test 2</p> <p>Second Semester Week 14 Smoking Week 15 Smoking - Organ Donation Week 16 Organ Donation Week 17 Cloning Week 18 Unit 3 - News Report Presentations Week 19 Comprehension Test 3 - Discussion Test 3 Week 20 TOEIC Week 21 TOEIC Week 22 Work (Japan) Week 23 Work (Japan) - Work (Japan and Abroad) Week 24 Work (Japan and Abroad) Week 25 Review for Test 4 Week 26 Unit 4 - News Report Presentations Week 27 Comprehension Test 4 - Discussion Test 4</p> <p>進め方 For homework, there will be one or two articles to read followed by vocabulary and comprehension questions. The teacher and students will discuss the articles in class and go over the questions raised in the homework. Following this, students will choose questions for discussion or debate in the next class. Students might also be asked to give short presentations on discussion questions. At the conclusion of each of the four major topics of the course, students will find a related news report and write a summary and opinion for homework, which they will then present to their classmates.</p> <p>テキスト Booklet An English-English dictionary (electronic or otherwise) is recommended.</p> <p>評価方法 Your grade will be based upon the following: Tests 75% テストの点数は、4回のテスト結果を高得点順にして、その上位3つの平均点になります。 Attendance, class work, participation and homework 25%</p> <p>授業には出席しなければなりません。欠席すると成績は下がります。授業に20分以上遅刻すると「欠席」の扱いになります。20分未満の遅れは「遅刻」になります。「遅刻」を3回すると1回の「欠席」の扱いになります。出席が全授業回数の3分の2に満たない場合はこの授業の成績は「不合格」となります。</p>		

英文学史		通年 4 単位	1年
英文学史：英文学の流れをつかむ		甘濃 夏実（あまの なつみ）	
ねらい	14世紀から現代までの英国の歴史のうねりの中で生まれた様々な作家・作品への理解を深め、ユーモアとひねりに満ちた英文学の歴史を概観することを第一の目標とする。英文を読む楽しさを感じ、作品のテーマを分析し考察してほしい。		
授業計画	【前期】 第1回 インTRODクダクシヨン 第2回 チョーサーの時代 第3回 16世紀の詩と散文 第4回 シェイクスピアの喜劇 第5回 シェイクスピアの悲劇 第6回 ミルトン 第7回 王政復古期 第8回 18世紀（スウィフト） 第9回 近代小説の誕生と成長 第10回 ロマン主義の文学（前期） 第11回 ロマン主義の文学（後期） 第12回 ヴィクトリア時代の小説と散文（ディケンズ） 第13回 ディケンズ・ブロンテ姉妹 第14回 ブロンテ姉妹 第15回 試験	【後期】 第1回 後期ヴィクトリア時代（ハーディ） 第2回 コンラッド・スティヴンソン・キプリング 第3回 世紀末唯美主義運動（ワイルド） 第4回 現代小説の発展 第5回 モダニズム（フォースター） 第6回 ジョイス・ロレンス 第7回 ブルームズベリー・グループ（ウルフ） 第8回 20・30年代の作家 第9回 女性作家 第10回 第2次大戦中の文学 第11回 戦後の文学 第12回 現代詩・演劇の世界 第13回 現代の文学 第14回 予備日 第15回 試験	
進め方	作家が生きた時代の思潮や社会情勢をみながら、主要作家のプロフィールと特色の解説、作品の主題の分析を行う。原文の精読を随時行い、映画や絵画も併せて鑑賞し、さらなる理解を深めたい。		
テキスト	日本イギリス文学・文化研究所編『イギリス文学ガイド』（荒地出版社）と適宜プリント	参考文献	相島倫嘉『The Stream of English Literature イギリス文学の流れ』（南雲堂）
評価方法	出席:20% 試験:70% 平常点:10%		

英文学史		通年 4 単位	1年
イギリス文学の歴史とその背景		松村 伸一（まつむら しんいち）	
ねらい	英米の新聞雑誌の見出しに古今の名作への言及が用いられるなど、文学作品の大まかな内容や有名な一節を知ること上、実は意外に実用的な知識だ。この授業では、背景となる歴史を踏まえつつ、著名な作家・作品や、さまざまな文学上の概念を紹介する。イギリスの歴史と文学について、世紀ごとのイメージを把握し、活きた知識を習得してほしい。		
授業計画	【前期】 第1回 インTRODクダクシヨン：授業概要 第2回 古英語・中英語の文学（1）：イギリス文化の基層 第3回 古英語・中英語の文学（2）：夢想寓意詩と騎士道物語 第4回 古英語・中英語の文学（3）：チョーサー 第5回 ルネサンス期の詩と散文（1）：歴史的背景 第6回 ルネサンス期の詩と散文（2）：宮廷詩人とソネット 第7回 ルネサンス期の詩と散文（3）：エリザベス女王の時代 第8回 エリザベス朝演劇（1）：イギリス演劇の発生 第9回 エリザベス朝演劇（2）：「大学才子」の演劇 第10回 エリザベス朝演劇（3）：シェイクスピア 第11回 17世紀前半の文学（1）：歴史的背景、英訳聖書と散文 第12回 17世紀前半の文学（2）：ジャコビアン・ドラマ 第13回 17世紀前半の文学（3）：形而上派詩人と王党派詩人 第14回 まとめ 第15回 前期試験	【後期】 第1回 17世紀後半の文学（1）：歴史的背景、演劇 第2回 17世紀後半の文学（2）：清教徒文学 第3回 17世紀後半の文学（3）：新古典主義文学 第4回 18世紀の詩と散文（1）：歴史的背景 第5回 18世紀の詩と散文（2）：ジャーナリズムと風刺文学 第6回 18世紀の詩と散文（3）：理性と感傷 第7回 「小説」という文学形式の誕生と発展 第8回 ロマン主義の時代（1）：歴史的背景 第9回 ロマン主義の時代（2）：ロマン派第一世代の詩 第10回 ロマン主義の時代（3）：ロマン派第二世代の詩 第11回 ヴィクトリア朝の詩と散文（1）：歴史的背景 第12回 ヴィクトリア朝の詩と散文（2）：社会と芸術 第13回 ヴィクトリア朝の詩と散文（3）：中世趣味と劇的独白 第14回 まとめ 第15回 後期試験	
進め方	講義。毎回復習小テストを行う（出欠確認用）。しかし、講義で扱えるのは19世紀の詩と散文までだろう。欠けた部分を補うために、前期末頃から、18～20世紀の小説を中心に課題作品を指定し、これらについて担当者数名が発表する作業を取り入れる。発表準備を通じて、個々に文学作品と直接向き合っていたいただきたい。		
テキスト	川崎寿彦『イギリス文学史』（成美堂）	参考文献	『英米文学辞典』（研究社）などを、発表準備時に利用すること。
評価方法	出席:25% 発表:5% 定期試験（2回）:70%		

英文学史		通年 4 単位	1年
イギリス文学を通して世界を見る		山田 美穂子 (やまだ みほこ)	
ねらい	英語を学んだすべての人の財産として開かれている英文学を、その社会背景を学びながら時代に沿って概観し、より深い作品理解への準備運動を行います。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 インTRODクシヨン～授業を始める前に 第2回 15世紀まで チョーサーの時代 第3回 15世紀まで 続き 第4回 16世紀前後 シェイクスピアの時代 第5回 16世紀 続き 第6回 16世紀 続き 第7回 17世紀 清教徒革命と王政復古 第8回 17世紀 続き 第9回 17世紀 続き 第10回 18世紀 小説とジャーナリズムの時代 第11回 18世紀 続き 第12回 18世紀 続き 第13回 19世紀① ロマン主義の時代 詩 第14回 19世紀① 続き ヒロインの時代 第15回 前期期末試験	<p>【後期】</p> 第1回 19世紀② ヴィクトリア女王の時代 第2回 19世紀② 小説 第3回 19世紀② 小説 第4回 19世紀② 小説 第5回 19世紀② 小説 第6回 19世紀② 小説 第7回 19世紀② 小説 第8回 19世紀② 小説 第9回 20世紀 現代文学の幕開け 詩と小説 第10回 20世紀 続き 第11回 20世紀 続き 第12回 20世紀 続き 第13回 20世紀 続き 第14回 20世紀 続き 第15回 英文学史まとめ	
進め方	前期はテキストを基調に詩を題材とした講義を進め、後期はテキストを参考に主に小説を扱う。映画作品の紹介や、関連する美術・音楽作品の鑑賞も内容に即して行う。各時代説明に入る授業では「社会背景」の見開きページを予習して行くこと。		
テキスト	日本イギリス文学・文化研究所編『イギリス文学ガイド』（荒地出版社）	参考文献	必要に応じて授業中に紹介する。
評価方法	出席率:30% 前期期末テスト:30% 後期期末レポート:40%		

米文学史		通年 4 単位	1年
アメリカ文学の流れとその主要作品		池田 孝一 (いけだ こういち)	
ねらい	17世紀から現代にいたるアメリカ文学の主要作品を数作熟読し、アメリカ文学に親しむ。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 はじめに 第2回 17世紀 (1) 第3回 『緋文字』 1～8 / 17世紀 (2) 第4回 『緋文字』 9～15 / 17世紀 (3) 第5回 『緋文字』 16～結び / 17世紀 (4) 第6回 『緋文字』 「税関」 第7回 18世紀 ～ 19世紀 第8回 エドガー・アラン・ポー 第9回 ナサニエル・ホーソーン 第10回 ハーマン・メルヴィル 第11回 ウォルト・ホイットマンとエミリー・ディキンソン 第12回 マーク・トウェイン 第13回 ヘンリー・ジェイムズ 第14回 19世紀から20世紀へ 第15回 前期試験	<p>【後期】</p> 第1回 自然主義の作家 第2回 F・スコット・フィッツジェラルド 第3回 アーネスト・ヘミングウェイ 第4回 ウィリアム・フォークナー 第5回 『アブサロム、アブサロム！』 (1) 第6回 『アブサロム、アブサロム！』 (2) 第7回 『アブサロム、アブサロム！』 (3) 第8回 『アブサロム、アブサロム！』 (4) 第9回 モダニズムの作家 第10回 ジョン・スタインベック 第11回 J. D. サリンジャー 第12回 ユダヤ系の作家 第13回 黒人作家 第14回 現代の文学 第15回 後期試験	
進め方	テキストの2作品に加えて別の2作品を選択して読んでもらい、小説を中心にアメリカ文学に触れる。		
テキスト	ホーソーン『緋文字』（岩波文庫）とフォークナー『アブサロム、アブサロム！』上・下（講談社文芸文庫）	参考文献	適宜授業時に指示する。
評価方法	ほぼ毎回の小テスト:40% 試験:60%		

米文学史		通年 4 単位	1年
アメリカ文学に親しむ		岡田 慶子 (おかだ けいこ)	
ねらい	アメリカ文学の基礎となる、植民地時代から20世紀前半までの、アメリカの社会と文学について学習します。それぞれの時代における重要な歴史事項の解説や、代表的な作家たちの作品を実際に鑑賞することで、アメリカ文学を少しでも身近なものとして感じられる機会を持ちます。		
授業計画	【前期】 第1回 はじめに ～ アメリカ文学を学ぶということ 第2回 アメリカ文学の特質 ～ その精神と地域性 第3回 植民地時代 第4回 ビューリタニズム 第5回 アメリカの独立 第6回 新しい時代精神 ～ B. フランクリン 第7回 ロマンティシズムの時代 第8回 W. アーヴィング 第9回 J. F. クーパー 第10回 超絶主義 第11回 R. W. エマソン 第12回 H. D. ソロー 第13回 N. ホーソーン 第14回 『緋文字』 第15回 試験	【後期】 第1回 前期の復習 ～ 19世紀前半まで 第2回 ロマンティシズムの詩人たち ～ ロングフェロー 第3回 W. ホイットマン 第4回 E. ディキンソン 第5回 南北戦争 第6回 南北戦争後のアメリカ ～ リアリズムの時代 第7回 M. トウエン 第8回 『ハックルベリー・フィンの冒険』 第9回 H. ジェイムズ 第10回 自然主義 ～ S. クレイ 第11回 第一次世界大戦以後 ～ 1920年代 第12回 F. S. フィッツジェラルド 第13回 『偉大なるギャツビー』 第14回 おわりに ～ アメリカ文学から学ぶこと 第15回 試験	
進め方	文学史の講義と作品鑑賞との二つのアプローチを行います。作品鑑賞については、映像などを活用することで、より印象的な学習体験ができるようにします。学生自身の積極的な参加が求められ、予習は必須です。		
テキスト	『アメリカ文学史』西田 実 著 (成美堂)	参考文献	図書館カウンターにある2009年度指定参考図書目録を参照のこと。
評価方法	定期試験:50% 授業への参加度:40% 提出物など:10%		

米文学史		通年 4 単位	1年
〈時代と人〉が文学を生む		君塚 淳一 (きみづか じゅんいち)	
ねらい	アメリカ文学を〈時代と人〉というキーワードで捉え、歴史的背景もおさえた上で、学際的に学ぶ。文学は国、地域、時代、民族、人など様々な要素が重なり合い生み出されるもの。アメリカは移民の国であり、この点で多様性に富み、それ故に面白い。特にこの点を考慮し、アメリカ文学を理解し、味わってもらふことをねらいとしている。		
授業計画	【前期】 第1回 オリエンテーション「アメリカとは、アメリカ文学とは」 第2回 植民地時代(1) ビルグリム・ファーザーズ報告書伝記 第3回 植民地時代(2) 魔女狩りまで 第4回 独立戦争の時代の文学 第5回 アメリカ文学の興隆 第6回 アメリカン・ルネッサンスと超絶主義とその時代(1) 第7回 アメリカン・ルネッサンスと超絶主義とその時代(2) 第8回 アメリカン・ルネッサンスと超絶主義とその時代(3) 第9回 南北戦争とその時代の文学 第10回 地方主義文学の時代とその背景 第11回 地方主義からリアリズム文学へ 第12回 リアリズムと写実主義文学 第13回 自然主義文学とアメリカの都市そして移民(1) 第14回 自然主義文学とアメリカの都市そして移民(2) 第15回 まとめ(総復習)と夏休みの課題などの説明	【後期】 第1回 20世紀初頭のアメリカと文学 第2回 1920年代(ロストジェネレーション)への胎動 第3回 第1次大戦とロストジェネレーション(1):20年代 第4回 第1次大戦とロストジェネレーション(2):戦争文学 第5回 第1次大戦とロストジェネレーション(3):戦後 第6回 大恐慌と1930年代プロレタリア文学 第7回 アメリカ南部作家とその周辺(1) 第8回 アメリカ南部作家とその周辺(2) 第9回 第2次世界大戦と戦争文学その後 第10回 1950年代:ビート・ジェネレーション、少数民族 第11回 ユダヤ系作家、アフリカ系作家(1) 第12回 ユダヤ系作家、アフリカ系作家とその他(2) 第13回 現代作家(1960年代-70年代)概説(1) 第14回 現代作家(1980年代-90年代とその後)概説(2) 第15回 まとめ(総復習)と後期試験についての説明など	
進め方	講義では単に作家や作品の生没を羅列するのではなく、学際的視点から文学史の流れを理解してもらうよう考えている。年間を通じてできる限り作品も読んでもらうが、作品や背景理解のためにはビデオ教材を使用する。又、小説に関するレポートや小テストも有り。		
テキスト	岩山太次郎他著『初めて学ぶアメリカ文学史』(金星堂)/君塚淳一監修『アメリカ1920年代-ローリング・トゥエンティーズの光と影』(金星堂)。	参考文献	授業時に紹介していく。
評価方法	出席:20% レポート:30% 定期試験:50%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
Sound and Silence in Short American Fiction		カーン (KERN, D. L.)	
ねらい	As this is a literature seminar taught entirely in English, students will have considerable opportunity to both develop their English language skills at an advanced level and to survey the vast panorama of short fiction of the United States from its beginnings to the present day.		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 Welcome: Introduction to the seminar... 第2回 American short stories: the historical context... 第3回 Poe: "The Tell-Tale Heart"; Worksheet 1 第4回 Hawthorne: "Young Goodman Brown"; Worksheet 2 第5回 Review of Poe and Hawthorne... 第6回 Freeman: "A Village Singer"; Worksheet 3 第7回 Wharton: "The Day of the Funeral" 第8回 Cather: "A Wagner Matinee"; Worksheet 5 第9回 Review of Freeman, Wharton, Cather; women writers 第10回 O Henry: "The Last of the Troubadours"; Worksheet 第11回 Parker: "The Waltz" 第12回 Review of the stories and major themes... 第13回 Test	<p>【後期】</p> 第1回 Review of first semester: Fitzgerald 第2回 Baldwin: "Sonny's Blues"; Worksheet 7 第3回 Capote: "Music for Chameleons"; Worksheet 8 第4回 Updike: "The Man Who Became a Soprano" 第5回 Didion: "When Did Music Come This Way?" 第6回 Theroux: "White Christmas"; Worksheet 9 第7回 Cameron: "Excerpts from Swan Lake" 第8回 Anshaw: "Elvis Has Left the Building" 第9回 Preparation for individual student presentations 第10回 Student presentations 第11回 Student presentations 第12回 Student presentations 第13回 Student presentations; course review 第14回 Test 2 第15回 Typed reports due	
進め方	Following the introductory weeks of background lectures to provide a context, a series of fifteen short stories will be studied in chronological order. The class will follow a lecture-discussion format, and students will be required to actively participate in the class discussions.		
テキスト	Students will find An Outline of American Literature by Peter B. High very useful in this class.	参考文献	"The Tell Tale Heart" (Edgar Allan Poe) "Young Goodman Brown" (Nathaniel Hawthorne) "The Village Singer" (Mary E. Wilkins)
評価方法	Quizzes:30% Oral Presentations:25% Final Written Report:25% Attendance and Participation:20%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
ヘンリー・ジェームズの小説を読む		池田 孝一 (いけだ こういち)	
ねらい	繊細な心理描写によって登場人物たちの心の動きを興味深く表した、アメリカの代表的作家ヘンリー・ジェームズの小説をいくつか精読する。女性を主人公とする長編・中編・短編小説を翻訳を利用して読み進める一方、短編小説を原文でゆっくり味わいながら読む。		
授業計画	<p>【前期】</p> インTRODクシヨソ 第2回 原文講読 (1)・『デヰジ-ミラー』(1) 第3回 原文講読 (2)・『デヰジ-ミラー』(2) 第4回 原文講読 (3)・『デヰジ-ミラー』(3) 第5回 原文講読 (4)・『ねじの回転』(1) 第6回 原文講読 (5)・『ねじの回転』(2) 第7回 原文講読 (6)・『ねじの回転』(3) 第8回 原文講読 (7)・『ねじの回転』(4) 第9回 原文講読 (8)・『ねじの回転』(5) 第10回 原文講読 (9)・短編小説(1) 第11回 原文講読 (10)・短編小説(2) 第12回 原文講読 (11)・短編小説(3) 第13回 原文講読 (12)・短編小説(4) 第14回 原文講読 (13)・短編小説(5) 第15回 前期のまとめの討論	<p>【後期】</p> 第1回 原文講読 (14)・『ある婦人の肖像』(1) 第2回 原文講読 (15)・『ある婦人の肖像』(2) 第3回 原文講読 (16)・『ある婦人の肖像』(3) 第4回 原文講読 (17)・『ある婦人の肖像』(4) 第5回 原文講読 (18)・『ある婦人の肖像』(5) 第6回 原文講読 (19)・『ある婦人の肖像』(6) 第7回 原文講読 (20)・『ある婦人の肖像』(7) 第8回 原文講読 (21)・『ある婦人の肖像』(8) 第9回 原文講読 (22)・『ある婦人の肖像』(9) 第10回 原文講読 (23)・『ある婦人の肖像』(10) 第11回 原文講読 (24)・『ある婦人の肖像』(11) 第12回 原文講読 (25)・『ある婦人の肖像』(12) 第13回 原文講読 (26)・ヘンリー・ジェヰムズ論 (1) 第14回 原文講読 (27)・ヘンリー・ジェヰムズ論 (2) 第15回 全体のまとめと討論	
進め方	テキスト(英文・和文)を精読する。十分に予習をした上で出席することを前提に毎回の授業を質疑応答の形で進める。1月には期末課題リポート(卒論)を提出してもらおう。		
テキスト	英文:プリント。 翻訳:ヘンリー・ジェヰムズ『ねじの回転 デヰジ-ミラー』(岩波文庫)『ある婦人の肖像』全3巻(岩波文庫)及びプリン	参考文献	授業時に適宜指示
評価方法	平常点:60% 期末課題リポート:40%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
"The Color Purple"を通して考える「自立」		遠藤 恵子 (えんどう けいこ)	
ねらい	「カラー・パープル」の中でウォーカーは、差別とは白人から黒人に対するものだけではなく、黒人社会の中でも強い女性差別があることを訴えた。耐えるだけだった主人公セリーが、いかにして「男」の支配から逃れて自立していったか。「女性の連帯」についても考えながら読んでいきたい。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 "The Color Purple" 作者、時代背景の説明 第3回 解説と読解 第4回 解説と読解 第5回 解説と読解 第6回 解説と読解 第7回 解説と読解 第8回 解説と読解 第9回 ここまでの感想、読み方について討論 第10回 読解と解説 第11回 読解と解説 第12回 読解と解説 第13回 読解と解説 第14回 読解と読解 第15回 まとめ	【後期】 第1回 前期の復習 第2回 paperの書き方について説明 (引用の仕方) 第3回 読解と解説 第4回 読解と解説 第5回 読解と解説 第6回 読解と解説 第7回 読解と解説 paperの説明 第8回 読解と解説 第9回 読解と解説 第10回 読解と解説 第11回 読解と解説 第12回 paperのアウトライン発表 第13回 paperのアウトライン発表 第14回 paperについての質疑応答 第15回 全体を通してのまとめ	
進め方	事前に担当を決め、そのパートの内容・ポイントについて説明してもらいます。その後全員でその部分について質疑応答を行い議論を深めます。paperはこの議論をもとに作成します。あわせてpaperの書き方についても学びます。		
テキスト	Alice Walker, The Color Purple	参考文献	必要に応じて教室で指示する
評価方法	前期テスト:20% 後期paper:50% 発表など平常点:30%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
20世紀アメリカ演劇を読む——Tennessee Williams & Eugene O' Neill		大森 裕二 (おおもり ゆうじ)	
ねらい	Tennessee Williams の一幕劇Out Cryを原文で丹念に読んで日本語に翻訳する作業から始めて、まずは戯曲作品の読み方の基本を学びます。次に、Eugene O' Neillの戯曲作品7本を読みます。このうち、The Hairy Ape は原文で読み日本語に翻訳する作業を行います。その他の作品は翻訳を積極的に活用して、作品世界を深く理解することに努めます。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス、WilliamsとO' Neillの紹介 第2回 Tennessee Williams, Out Cry ① 第3回 Tennessee Williams, Out Cry ② 第4回 Tennessee Williams, Out Cry ③ 第5回 Tennessee Williams, Out Cry ④ 第6回 Eugene O' Neill, Fog and The Rope 第7回 Eugene O' Neill, The Hairy Ape ① 第8回 Eugene O' Neill, The Hairy Ape ② 第9回 Eugene O' Neill, The Hairy Ape ③ 第10回 Long Day' s Journey into Night ① 第11回 Long Day' s Journey into Night ② 第12回 Long Day' s Journey into Night ③ 第13回 Long Day' s Journey into Night ④ 第14回 Long Day' s Journey into Night ⑤ 第15回 Long Day' s Journey into Night ⑥	【後期】 第1回 Anna Christie ① 第2回 Anna Christie ② 第3回 Anna Christie ③ 第4回 Anna Christie ④ 第5回 Beyond the Horizon ① 第6回 Beyond the Horizon ② 第7回 Beyond the Horizon ③ 第8回 Beyond the Horizon ④ 第9回 The Great God Brown ① 第10回 The Great God Brown ② 第11回 The Great God Brown ③ 第12回 The Great God Brown ④ 第13回 年度末レポート要旨の口頭発表、質疑応答 第14回 年度末レポート要旨の口頭発表、質疑応答 第15回 まとめ	
進め方	学生の発表と話し合いを中心に進めます。Out Cry とThe Hairy Apeの場合は、担当者に訳文を用意していただき、皆で議論しながら直すべきところを直していきます。その他の作品の場合は、担当者に担当箇所のおらずじのまとめ、語学的に注意すべき点や内容についてのコメントをしてもらいます。詳細は第1回のガイダンスでお話します。		
テキスト	基本的にこちらで用意したものや図書館にあるものを利用します。詳細は第1回のガイダンスでお話します。	参考文献	第1回のガイダンス時に文献リストを配布します。
評価方法	小テスト:25% 口頭発表:25% 学年末レポート:25% 出席状況および平常点:25%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
アメリカ詩を読む		齋藤 修三 (さいとう しゅうぞう)	
ねらい	20世紀アメリカ詩を中心に、現代の様々な局面を切り取った英語詩の魅力を味わう。単に知識を得るに留まらず、同じ時代を生きた諸君の批判精神や表現力が、詩と共振する中で少しずつ「開かれていく」ような場を作り出したい。卒論は、2年間の英米文化・文学体験の中から各自テーマを選択、リサーチ・問い・論証という論文作成の課題に取り組む。		
授業計画	【前期】 第1回 2限導入～Dickinson 3限戦後アメリカ詩概説 第2回 2限テキスト講読、Dickinson 3限ビート詩 第3回 2限テキスト講読、Dickinson 3限ビート詩 第4回 2限テキスト講読、Whitman 3限ビート詩 第5回 2限テキスト講読、Whitman 3限他の白人男性詩 第6回 2限テキスト講読、Whitman 3限白人女性詩概説 第7回 2限モダニズム詩概説 3限白人女性詩 第8回 2限テキスト講読、モダニズム詩 3限白人女性詩 第9回 2限同上 3限マイノリティ詩概説 第10回 2限同上 3限マイノリティ男性詩 第11回 2限同上 3限同上 第12回 2限同上 3限同上 第13回 2限同上 3限まとめ 第14回 2限まとめ 3限夏合宿要項 第15回 前期まとめ	【後期】 第1回 2限マイノリティ女性詩概説 3限テキスト講読 第2回 2限マイノリティ女性詩 3限テキスト講読 第3回 2限マイノリティ女性詩 3限テキスト講読 第4回 2限マイノリティ女性詩 3限テキスト講読 第5回 2限マイノリティ女性詩 3限テキスト講読 第6回 2限21世紀アメリカ詩最前線 3限テキスト講読 第7回 2限21世紀アメリカ詩最前線 3限卒論指導 第8回 2限21世紀アメリカ詩最前線 3限卒論指導 第9回 2・3限卒論指導 第10回 2・3限卒論指導 第11回 2・3限卒論指導 第12回 2・3限卒論指導 第13回 2・3限卒論指導 第14回 2・3限卒論合評会 第15回 2・3限卒論合評会	
進め方	入門なので、詩を読んだことのない人でも大丈夫。ただし、リポーターによる詩やテキストの読解と全員参加のディスカッションが中心となるので、受身の授業態度でなく、積極的な授業参加を通じ、自分の知性や感性をさらに磨きたいと考える学生に向いている。		
テキスト	榎木伸明『卒論を書こう』三修社、およびこちらでプリントを準備。	参考文献	随時紹介
評価方法	夏合宿プレゼン&卒論:50% リポーター回数:20% 出席・議論への参加度:20% メールレポート回数:10%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
トニ・モリスンの世界－ <i>BeLoved</i> を読む－		田中 芳子 (たなか よしこ)	
ねらい	1993年ノーベル文学賞を受賞したアメリカ黒人女性作家トニ・モリスンの <i>BeLoved</i> を読みます。作品を通じて、奴隷制という差別の極限状況の中でより鮮明に見えてくる「人間の本质」に迫ってゆきたいと思います。若い力でこの長編小説と格闘し、英語力を鍛え深い洞察力を培うと共に、各々の「人間観」を築き上げて欲しいと願っています。		
授業計画	【前期】 第1回 作者、作品解説他 第2回 ビデオ鑑賞と解説 第3回 読解と解説：テキスト1章 第4回 読解と解説：テキスト1章 第5回 読解と解説：テキスト2章 第6回 読解と解説：テキスト3章 第7回 読解と解説：テキスト3章 第8回 読解と解説：テキスト4章、討論：1・2・3章 第9回 読解と解説：テキスト5章、討論：4・5章 第10回 読解と討論：テキスト6章 第11回 読解と討論：テキスト7章 第12回 読解と解説：テキスト8章 第13回 討論：6・7章 第14回 討論：8章 第15回 討論：前期を振り返って	【後期】 第1回 ガイダンス：レポート提出と後期について 第2回 指導：後期発表について、解説：時代背景について 第3回 発表：テキスト9章（学生による、以下26-1まで同） 第4回 発表：テキスト10・11・12章 第5回 発表：テキスト13・14・15-1章 第6回 発表：テキスト15-2・16・17章 第7回 発表：テキスト18・19-1章 第8回 発表：テキスト19-2章 第9回 発表：テキスト19-3・20章 第10回 発表：テキスト21・22・23章 第11回 発表：テキスト24・25章 第12回 発表：テキスト26-1章、読解と解説：26-2章 第13回 読解と解説：テキスト26-3章 第14回 読解と解説：テキスト26-4・27章・エピソード 第15回 レポート提出と発表	
進め方	講義と学生の皆さんによる発表と、その中で見出した自分の意見を交換しあうディスカッション等で進めてゆきます。その他ビデオ鑑賞等、作品に関わる情報にも出来るだけ触れてゆきたいと思います。		
テキスト	Toni Morrison, <i>BeLoved</i> (A Plume Book)	参考文献	図書館カウンターにある2009年度指定参考図書目録を参照して下さい。加えて必要に応じ授業中に指示します。
評価方法	前期レポート:25% 後期レポート(卒論):50% 各自の発表など平常点:25%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
アメリカ南部女性作家を読む		鶴見 典子 (つるみ のりこ)	
ねらい	作品を通して、読解力と鑑賞力を高め、あわせて異文化への認識を深めること。作家が作品にこめた意図やその精神性を見つめながら、お互いに今まで見えなかったものを発見し、思考力、想像力、感性を磨き、自分の考えを構築し、適切に表現出来る能力を養うこと。		
授業計画	【前期】 第1回 アメリカ南部について、作家について。 第2回 "Judge McKelva in New Orleans" 第3回 "Dr. Courtland" 第4回 "After Surgery" 第5回 "Fay and Laurel" 第6回 "Father and Daughter" 第7回 "Fay and Judge McKelva" 第8回 "Ffuneral in Mount Salus" 第9回 "Fay and the Chisoms" 第10回 "Presbyterian and Baptist" 第11回 "Fay and Bridesmaids" 第12回 "Neighbors in the Parlor" 第13回 ビデオを見る 第14回 前期のまとめ 第15回 質問の時間	【後期】 第1回 "Vecky' s Climber" 第2回 "Memory" 第3回 "In the Library" 第4回 "Father and Mother" 第5回 "Pessimist and Optimist" 第6回 "Laurel and Phil" 第7回 "The Confluence of Love" 第8回 "A Bird in the House" 第9回 "Mother' s Breadboard" 第10回 "A Labor of Love" 第11回 "Powers of Passion and Imagination" 第12回 "Memory is the Somnambulist" 第13回 論文について 第14回 論文について 第15回 論文について	
進め方	テキストにそって、講義と演習形式で行う。よく考えて自分の意見・考えを持つことをこころがけて頂きたい。		
テキスト	Eudora Welty, The Optimist' s Daughter (Random House) プリントも使用する。ントも使用する。	参考文献	必要に応じて教室で指示する。
評価方法	前期後期のレポート:50% 発表、小テスト、出席:50%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
〈ナルニア国物語〉を読む		成瀬 俊一 (なるせ しゅんいち)	
ねらい	英国の作家C.S. ルイスの長編ファンタジー小説〈ナルニア国物語 (The Chronicles of Narnia, 7 vols. 1950-56) 〉を研究します。異次元世界を舞台にくりひろげられる善と悪の激しい戦いを描くこの物語を原文で味わい、楽しみながら、登場人物たちが体験する「生きる」ことの不思議さと素晴らしさを分かち合いたいと思います。		
授業計画	【前期】 第1回 授業オリエンテーション 第2回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 1 第3回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 2 第4回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 3 第5回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 4 第6回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 5 第7回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 6 第8回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 7 第9回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 8 第10回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 9 第11回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 10 第12回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 11 第13回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 12 第14回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 13 第15回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 14	【後期】 第1回 夏期課題口頭発表(Prince Caspianレポート) 第2回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 15 第3回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 16 第4回 The Lion The Witch and the Wardrobe, Chapter 17 第5回 映画視聴: The Lion The Witch and the Wardrobe 第6回 The Magician' s Nephew, Chapter 1 第7回 The Magician' s Nephew, Chapter 2 第8回 The Magician' s Nephew, Chapter 3 第9回 The Magician' s Nephew, Chapter 4 第10回 The Magician' s Nephew, Chapter 5 第11回 The Magician' s Nephew, Chapter 6 第12回 The Magician' s Nephew, Chapter 7 第13回 The Magician' s Nephew, Chapter 8 第14回 The Magician' s Nephew, Chapter 9 第15回 The Magician' s Nephew, Chapter 10-15まとめ	
進め方	授業1回につき1章ずつ読み進み、作品の問題点に関する討論と部分的な翻訳をします。また、ドラマ版のビデオを毎時間、各章分ずつ視聴します。作品をより深く理解するために、ルイス関係の研究書、ルイス自身による他の著作(エッセイ、書簡、小説)、ルイスの伝記映画(Shadowlands)などの参考資料を随時紹介します。		
テキスト	C. S. Lewis, The Lion, the Witch and the Wardrobe, Prince Caspian, The Magician' s Nephew (Harper Collins)	参考文献	コリン・ドゥーリエ『ナルニア国フィールドガイド』(東洋書林) その他、授業中に随時紹介しませず。
評価方法	毎授業時の発表:40% 夏期レポート:10% 学年末レポート:50%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
現代アイルランド小説を読む		舟橋 美香 (ふなはし みか)	
ねらい	アイルランドは、ここ20年で大きな変化を経験しました。そこで、近年に書かれたアイルランドの短篇小説と長篇小説からの抜粋を読み、アイルランド固有の問題と私達が共有する問題を考えていきます。また、20世紀～現代の小説の多様性を楽しむことが出来る力の向上を目指します。とりあげる作家・作品は、現在も活躍中の作家が主になります。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 イントロダクション (アイルランドって?) 第2回 映画ビデオを見てアイルランドを知る 第3回 短編小説 McGahern, 'High Ground' を読む 第4回 短編小説 McGahern, 'High Ground' を読む 第5回 短編小説 McGahern, 'High Ground' を読む 第6回 短編小説 McGahern, 'High Ground' を読む 第7回 短編小説 McGahern, 'High Ground' を読む 第8回 短編小説 McGahern, 'High Ground' を読む 第9回 短編小説 Ni Dhuibhe, 'Blood and Water' を読む 第10回 短編小説 Ni Dhuibhe, 'Blood and Water' を読む 第11回 'Blood and Water' を読む+アイルランド語入門 第12回 短編小説 Ni Dhuibhe, 'Blood and Water' を読む 第13回 短編小説 Ni Dhuibhe, 'Blood and Water' を読む 第14回 短編小説 Ni Dhuibhe, 'Blood and Water' を読む 第15回 予備日、復習とレポートの説明	<p>【後期】</p> 第1回 レポート返却、トビーン『ヒース燃ゆ』翻訳で読む 第2回 ドイル原作映画 (予定) を鑑賞、ディスカッション 第3回 Joseph O' Connorの 'Mothers Are All the Same' を読む 第4回 O' Connorの短編 'Mothers Are All the Same' を読む 第5回 O' Connorの短編 'Mothers Are All the Same' を読む 第6回 Mary Lavinの短編小説 'Happiness' を読む 第7回 図書館実習 (予定) 第8回 Mary Lavinの短編小説 'Happiness' を読む 第9回 Mary Lavinの短編小説 'Happiness' を読む 第10回 Mary Lavinの短編小説 'Happiness' を読む 第11回 Mary Lavinの短編小説 'Happiness' を読む 第12回 Lavinまとめ、レポートのまとめ方説明と個別指導 第13回 Angela Bourkeの短編とその他翻訳作品紹介 (予定) 第14回 授業まとめ、引用の仕方と出典の書きかた指導、ビデオ鑑賞 第15回 レポート回収と本製本作業、ディスカッション	
進め方	アンソロジーから作品を選んで演習形式で読みます。前期は、現代アイルランドの作品を読むときに必要なアイルランドの歴史的背景や文化について、ビデオ等の資料を交えて紹介、解説もする予定です。後期は、グループごとに発表してもらい、ディスカッションします。年度末のレポートに向けて、作品、作家をまとめる方法についても指導します。		
テキスト	Dermot Bolger ed., <i>The Picador Book of Contemporary Irish Fiction</i> , Picador, 1994. 加えて、授業配布プリント。テキスト入手方法は授業で指	参考文献	授業中に随時指示。
評価方法	授業の参加姿勢や発表、小レポート:40% 前期・後期2回の提出レポート:60%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
十九世紀末テキストとしての『シルヴィーとブルーノ』		松村 伸一 (まつむら しんいち)	
ねらい	ルイス・キャロルが57歳の時に出版した『シルヴィーとブルーノ』は、長くて構成も複雑なせいか、読者が多いとは言いがたい。本ゼミではこの作品を、児童文学というより、十九世紀末テキストとして読んでみたい。1889年刊行のこの物語は、十九世紀末英国文化の諸問題をいろいろ先取りしているのではないかという仮説を、授業を通して検証する。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 イントロダクション: ルイス・キャロルについて 第2回 Ch. 1: Less Bread! More Taxes! 第3回 Ch. 2: L' Amie Inconnue 第4回 Ch. 3: Birthday-Presents 第5回 Ch. 4: A Cunning Conspiracy 第6回 Ch. 5: A Beggar's Palace 第7回 Ch. 6: The Magic Locket 第8回 Ch. 7: The Baron's Embassy 第9回 Ch. 8: A Ride on a Lion 第10回 Ch. 9: A Jester and a Bear 第11回 Ch.10: The Other Professor 第12回 Ch.11: Peter and Paul 第13回 Ch.12: A Musical Gardener 第14回 Ch.13: A Visit to Dogland 第15回 前期のまとめと夏休み中の課題について	<p>【後期】</p> 第1回 学生発表: ブックレポート (1) 第2回 学生発表: ブックレポート (2) 第3回 Ch.14: Fairy-Sylvie 第4回 Ch. 15: Bruno's Revenge 第5回 Ch. 16: A Changed Crocodile 第6回 Ch. 17: The Three Badgers 第7回 Ch. 18: Queer Street, Number Forty 第8回 Ch. 19: How to Make a Phliz 第9回 Ch. 20: Light Come, Light Go 第10回 Ch. 21: Through the Ivory Door 第11回 Ch. 22: Crossing the Line 第12回 Ch. 23: An Outlandish Watch 第13回 Ch. 24: The Frogs' Birthday-Treat 第14回 Ch. 25: Looking Eastward 第15回 卒業レポート発表	
進め方	毎回1章ずつ2名の担当者を決めて読み進める。担当者には、あらすじ・部分訳・言葉遊びの説明・疑問点などを発表してもらう。作者の生涯や妖精論については別途資料を配付する。夏休みには十九世紀末の文化背景に関するブックレポート、学年末には卒業レポートが課される。それぞれ授業時に機会を設けて発表してもらう予定。		
テキスト	Lewis Carroll, <i>Sylvie and Bruno</i> . New York: Dover Publications, 1988. 夏休みのブックレポートの課題図書は、自分で本を用意すること。	参考文献	平倫子『ルイス・キャロルの図像学』『ルイス・キャロル 身体医文化の実相』英宝社、ほか。他のルイス・キャロル作品は、自分で翻訳などを用意し
評価方法	出席:30% 授業への貢献度:10% レポート:60%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
「失われた世代」と F. S. フィッツジェラルド		宮内 華代子 (みやうち かよこ)	
ねらい	『グレート・ギャツビー』(1925)の作者として知られるフィッツジェラルドの作品と研究論文、手紙集を読みます。「失われた世代」の代表的作家、ヘミングウェイとの関連を知り、作品の時代背景、彼の生き方、創作態度、作品のテーマをさぐり、その文学的特質を学びます。		
授業計画	【前期】 第1回 通年授業、論文または翻訳作成のガイダンス 第2回 学生の発表・討論、資料解読・解説、添削指導 第3回 学生の発表・討論、資料解読・解説、添削指導 第4回 学生の発表・討論、資料解読・解説、添削指導 第5回 同上、論文または翻訳作品題目届出 第6回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第7回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第8回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第9回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第10回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第11回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第12回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第13回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第14回 筆記小テスト、論文または翻訳指導 第15回 『グレート・ギャツビー』DVD鑑賞会、感想文提出	【後期】 第1回 グループ研究、資料検索方法図書館ガイダンス 第2回 グループ研究、資料、添削、論文または翻訳指導 第3回 グループ研究、資料、添削、論文または翻訳指導 第4回 グループ研究、資料、添削、論文または翻訳指導 第5回 グループ研究、資料、添削、論文または翻訳指導 第6回 グループ研究、資料、添削、論文または翻訳指導 第7回 グループ研究、資料、添削、論文または翻訳指導 第8回 研究レポート提出、発表・討論、資料解読・解説、添削 第9回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第10回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第11回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第12回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第13回 発表・討論、資料解読・解説、添削、論文または翻訳指導 第14回 筆記小テスト、論文または翻訳指導 第15回 学生が作成した研究論文・翻訳発表会	
進め方	毎回小テスト、学生による発表、研究論文解読・解説、論文あるいは本邦未訳の作品の翻訳の(添削)指導、後期はグループ研究を行う。随時設問に対する記述式解答(A4、一枚程度)を作成して提出。		
テキスト	<i>Babylon Revisited and Winter Dreams</i> (研究社) フィッツジェラルド/ヘミングウェイ往復書簡集(ダイナミック・セラーズ出版)	参考文献	随時紹介
評価方法	卒業論文または翻訳:30% グループ研究レポート:20% 出席・小テスト:20% レポート発表:20% 提出物:10%		

英米文学研究		通年 8 単位	2年
19・20世紀イギリス小説を通して見る「英国性」		山田 美穂子 (やまだ みほこ)	
ねらい	19世紀後期から20世紀初頭にかけて、イギリス社会では「英国性=イギリス(人)らしさ」に対する関心が高まり、それを主題としたさまざまな文学・美術作品が生み出されました。作品やその社会背景を学びながら、ある国の国民である、ということの定義や問題についての考察を深めたいと思います。		
授業計画	【前期】 第1回 イントロダクション～「英国性」についての解説 第2回 小説講読・映画作品鑑賞 第3回 小説講読 第4回 小説講読 第5回 小説講読 第6回 小説講読 第7回 小説講読 第8回 西洋美術館「松方コレクション」鑑賞 第9回 小説講読 第10回 小説講読 第11回 小説講読 第12回 小説講読 第13回 小説講読 第14回 小説講読 第15回 前期まとめ	【後期】 第1回 評論講読 第2回 評論講読 第3回 評論講読 第4回 評論講読 第5回 評論講読 第6回 評論講読 第7回 評論講読 第8回 美術展鑑賞 第9回 卒論中間発表 第10回 卒論中間発表 第11回 卒論中間発表 第12回 卒論中間発表 第13回 卒論中間発表 第14回 卒論中間発表 第15回 後期まとめ・卒論チュートリアル	
進め方	前期は小説講読と、時代背景に関する講義が中心。随時関連する映画・美術作品の鑑賞を行う。後期は評論講読、後半は各自の卒論に関する中間発表を行う(必須)。卒論の書き方の指導も並行して実施。年度末に英文の卒業論文を提出、課題は中間発表前に提示する。		
テキスト	E. M. Forster, <i>A Room With a View</i> (Penguin Classics)	参考文献	授業中に随時紹介と配布を行う。
評価方法	出席率:30% 卒業論文:70%		

英文学		通年 4 単位	2年
Shakespeareから学ぶ人間の普遍性		加賀屋 俊二 (かがや しゅんじ)	
ねらい	これから社会に巣立って行く学生諸君にとって、Shakespeareは一度は読ませておきたい劇作家の一人である。人間理解という点で今後の人生に大いに役立つはずである。そこで四大悲劇と呼ばれている『ハムレット』『マクベス』『リア王』『オセロー』を読み、そこに盛られている時代を超えた普遍的な人間精神を理解する。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 ガイダンス（授業の方針と評価の方法等について） 第2回 Shakespeareとその時代（1）。プリント配布。 第3回 Shakespeareとその時代（2）。プリント配布。 第4回 『ハムレット』（1回の授業で2～3ページ読み進める） 第5回 『ハムレット』 第6回 『ハムレット』 第7回 『ハムレット』 第8回 『ハムレット』 第9回 『ハムレット』 第10回 原典に触れる。映画を観る。 第11回 映画を観る。 第12回 『オセロー』 第13回 『オセロー』 第14回 『オセロー』 第15回 『オセロー』	<p>【後期】</p> 第1回 『オセロー』 第2回 『オセロー』 第3回 原典に触れる。映画を観る。 第4回 映画を観る。 第5回 『マクベス』 第6回 『マクベス』 第7回 『マクベス』 第8回 『マクベス』 第9回 『マクベス』 第10回 『マクベス』 第11回 原典に触れる。映画を観る。 第12回 映画を観る。 第13回 『リア王』 第14回 『リア王』 第15回 『リア王』	
進め方	最初に配布資料に基づき、Shakespeareの伝記と生きたエリザベス朝について概観する。その後テキストを読み始める。授業は演習形式（翻訳）だが、各作品を読み終わるごとに比較的原作に忠実な映画を見る。戯曲は、本来、芝居用の台本であるから、役柄を決めて読み合わせもする。また、受講生諸君の意見や考え方を求める場合もある。		
テキスト	『シェイクスピアの四大悲劇』I. Buckman著、早乙女忠 編注、松柏社、定価1050円（本体1000円＋税5%）、ISBN 4-88198-067-X	参考文献	必要に応じてプリント配布する。
評価方法	前期・後期のレポート:80% 出席・発表等:20%		

米文学		通年 4 単位	2年
Survey of American Literature (Melody Elliott)		エリオット (ELLIOTT, M. P.)	
ねらい	This class will give students an overview of American literature from its beginnings to the present time. Students will read simplified versions of famous works of American lit. and some original texts, listen to lectures and take notes, analyze, and discuss poetry, short stories, novels, and drama by American authors.		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 Course Introduction, Earliest American Literature 第2回 Amer. Folklore: Legend of Sleepy Hollow (Irving) 第3回 Slave Narrative: Incidents in the Life (H. Jacobs) 第4回 Pioneer Spirit: Last of the Mohicans (J.F. Cooper) 第5回 Transcendentalism: Leaves of Grass (Walt Whitman) 第6回 Individualism: Poetry (Emily Dickinson) 第7回 Historical Fiction: The Scarlet Letter (Hawthorne) 第8回 Film Report 1 & Amer. Gothic: Short Stories (Poe) 第9回 Romanticism: Moby Dick (Herman Melville) 第10回 Romanticism cont: Little Women (L. M. Alcott) 第11回 Realism: The Adventures of Tom Sawyer (Twain) 第12回 Semester Review 第13回 Mid-term Exam	<p>【後期】</p> 第1回 Lost Gen. & WWI: Short Stories (F.S. Fitzgerald) 第2回 Lost Gen. & WWI: Short Story (Ernest Hemingway) 第3回 Harlem Renaissance: Poetry (Langston Hughes) 第4回 Experimentalism: Poetry (ee cummings) 第5回 Roaring 20s: Poetry (Dorothy Parker) 第6回 Film Rep. 2 & Great Dep.: Of Mice & Men (Steinbeck) 第7回 Regionalism: Poetry (Robert Frost) 第8回 Regionalism: Streetcar Named Desire (T. Williams) 第9回 Contemp. African Amer: Recitatif (Toni Morrison) 第10回 Contemp. Hispan. Amer: House on Mango St. (Cisneros) 第11回 Contemp. Native Amer: Grass Dancer (Susan Power) 第12回 Grass Dancer cont. (Susan Power) 第13回 Contemp. Asian Amer: Joy Luck Club (Amy Tan) 第14回 Final Exam & Film Report 3	
進め方	This class will be completely in English. It is appropriate for active students with intermediate ability, good attendance, and good study habits. Students must do the weekly readings and notes for homework, and in class, participate actively in group discussions, listen to lectures, ask questions, and take good notes.		
テキスト	There will be weekly prints of the assigned readings. This class will NOT use a textbook.	参考文献	We will study 21 writers during the semester and over 25 works of American Literature by famous authors.
評価方法	Participation:25% Homework:25% 3 short typed film reports :30% 2 exams:20%		

英語圏文学		通年 4 単位	2年
ニュージーランドの作家キャサリン・マンズフィールドを読む		井原 真理子 (いはら まりこ)	
ねらい	皆さんは英語圏文学と聞いて、どんな文学を思い浮かべますか。この授業では、19世紀の末に南半球にあるニュージーランドで生まれ、後にロンドンで活躍した女流作家キャサリン・マンズフィールドの作品を読みます。100年近くも前に書かれた短編集ですが、うら若い女性の微妙な心理を描いて、今の時代に読む皆さんにもとても親しみやすい作品		
授業計画	【前期】 第1回 Introduction 第2回 'The Garden Party' を読む 第3回 同上 第4回 同上 第5回 同上 第6回 同上 第7回 'The Doll's House' を読む 第8回 同上 第9回 同上 第10回 同上 第11回 同上 第12回 同上 第13回 同上 第14回 同上 第15回 前期小論文について	【後期】 第1回 'The Wind Blows' を読む 第2回 同上 第3回 同上 第4回 同上 第5回 'A Cup of Tea' を読む 第6回 同上 第7回 同上 第8回 同上 第9回 同上 第10回 作者キャサリン・マンズフィールドとは 第11回 'A Cup of Tea' 再考 第12回 'The Fly' を読む 第13回 同上 第14回 同上 後期小論文について 第15回 まとめ	
進め方	まずは原典を熟読し、味わうことが基本です。読みすすむごとにテーマを決めて論じてゆきます。学生には、文章を書いたり、発言したり、発表したりと、積極的な参加を期待します。辞書は必ず持参しましょう。(下記の参考文献参照のこと。)		
テキスト	Katherine Mansfield. The Doll's House and Other Stories. Eikosha, 1989. (上島建吉 編注 『詳注 人形の家 他』英光社, 1989年。)	参考文献	『プログレッシブ英和中辞典』(小学館)を推薦します。単語の用法が必ず見つかる素晴らしい辞書です。たまに電子辞書にも入っているので、探してみ
評価方法	平常点:40% 学期末小論文:60%		

児童文学		通年 4 単位	2年
英国ファンタジーの今昔		成瀬 俊一 (なるせ しゅんいち)	
ねらい	英国児童文学のファンタジーの誕生と発展の軌跡を、代表的な作品を題材にたどります。魔法や別世界といった道具立てを用いるこの文学形式は、いかなる可能性を秘めているのか?作家たちはいかなるメッセージを作品に託しているのだろうか?受講者は実際に作品を読み、講師や他の受講者たちによる作品の解釈を検証することが求められます。		
授業計画	【前期】 第1回 授業オリエンテーション/講義: イギリス児童文学の誕生 第2回 講義: イギリス児童文学のファンタジーの誕生と発展 第3回 講義: ルイス・キャロルの人生と作品 第4回 研究発表: 『不思議の国のアリス』(1865) 第5回 映画視聴: 『不思議の国のアリス』 第6回 講義: G・マクドナルドと『王女とゴブリン』(1972) 第7回 講義: E・ネズビットと『砂の妖精』(1902) 第8回 講義: ケネス・グレアムの人生と作品 第9回 研究発表: 『たのしい川べ』(1908) 第10回 講義: J・M・バリの人生と作品 第11回 研究発表: 『ピーター・パン』(1911) 第12回 講義: A・A・ミルンの人生と作品 第13回 研究発表: 『クマのプーさん』(1926) 第14回 講義: P・L・トラヴァースの人生と作品 第15回 研究発表: 『メアリー・ポピンズ』(1934)	【後期】 第1回 講義: J・R・R・トールキンの人生と作品 第2回 研究発表: 『ホビットの冒険』(1937) 第3回 映画視聴: 『ホビットの冒険』 第4回 講義: ルーマー・ゴッデンの人生と作品 第5回 研究発表: 『人形の家』(1947) 第6回 講義: C・S・ルイスの人生と作品 第7回 研究発表: 『ライオンと魔女』(1950) 第8回 講義: メアリー・ノートンと『床下の小人たち』(1952) 第9回 講義: 『フィリパ・ピアス』の人生と作品 第10回 研究発表: 『トムは真夜中の庭で』(1958) 第11回 講義: M・ボンドと『くまのパティントン』(1958) 第12回 講義: R・ダールと『チョコレート工場秘密』(1964) 第13回 講義: J・K・ローリングの人生と作品 第14回 研究発表: 『ハリリー・ポッターと賢者の石』(1997) 第15回 試験	
進め方	まず、各作家・作品の背景に関する講義をし、作品原文の一部(プリントを配付)を精読をします。それから、事前に配付するプリントにもとづいて、作品の問題点について討論を行います。映像化されている作品はその一部(または全部)をクラスで視聴します。学年末に試験を実施します。		
テキスト	作品を原書または翻訳で各自読んで予習すること(作品は図書館で借りるなどして用意して下さい)。部分精読用の英文テキストは講師がプリント	参考文献	本多英明他編著『たのしく読める英米児童文学』(ミネルヴァ書房)、桂宥子他編著『英米児童文学の黄金時代』(ミネルヴァ書房)
評価方法	研究発表:30% 期末試験:70%		

比較文学		通年 4 単位	2年
文学作品を「比較文学的」に読む		加納 孝代 (かのう たかよ)	
ねらい	ある作品をより深く理解するのに、他作品との「比較」が有効であることを、実例に即して見ていきながら、文学作品を「比較文学的」に読むことの面白さを味わいたい。授業では、日本の優れた文学作品のうち、海外の文学や文化（絵画や音楽など）ととくに深い交流・影響関係をもつものを選び、日本文学を世界的な視野の中に位置づけるように努め		
授業計画	【前期】 第1回 「春のうらら」100周年 (p. 127)、滝廉太郎と明治の唱歌 第2回 時は春、日は朝 (p. 129)、上田敏とブラウニング 第3回 いざくちづけむ君が面 (p. 14)、明治の訳詩集「海潮音」 第4回 レモンの木は花さき (p. 34)、森鷗外とゲーテ 第5回 卯の花のにほふ垣根 (p. 27)、明治唱歌と西洋音楽 第6回 夕暮れの立原道造 (p. 18)、立原道造の詩と建築 第7回 五月のなかへ死にゆく母 (p. 20)、斉藤茂吉の短歌 第8回 斉藤茂吉の「死にたまふ母」と、その英訳 第9回 ゴッホの糸杉 (p. 22)、宮澤賢治の「春と修羅」 第10回 英訳で読む宮澤賢治の「銀河鉄道の夜」 第11回 雲の峯から月の山へ (p. 41)、芭蕉の「奥の細道」 第12回 夏の入り日と海と川 (p. 43)、英訳された芭蕉の俳句 第13回 夏の夜明けの二人 (p. 163)、清少納言の「枕草子」の1 第14回 たわわの房の青葡萄 (p. 51)、金素雲の「朝鮮詩集」 第15回 韓国の空の赤とんぼ (p. 55)、韓国の詩人たち	【後期】 第1回 夕空はれて (p. 73)、日本の唱歌と英米の民謡 第2回 月光の詞華集 (p. 311)、清少納言の「枕草子」の2 第3回 星の林のさやかなる (p. 75)、スペインの神秘思想 第4回 夜の底からの歌 (p. 77)、旧約聖書の雅歌 第5回 秋のあひびき (p. 329)、萩原朔太郎の詩の世界 第6回 落ち葉踏む足音 (p. 197)、フランス詩の翻訳 第7回 音読する少年少女 (p. 187)、イザベラ・バードの旅 第8回 ハイランドの桃源郷 (p. 69)、スコットランドの夏目漱石 第9回 冬来たる (p. 210)、俳句の中の時雨と木枯し 第10回 中空になすな恋 (p. 207)、謡曲と蕪村の俳句 第11回 雪山に入る日 (p. 234)、斉藤茂吉の冬の短歌 第12回 雪の夜の炭火の色 (p. 229)、漱石の小説の世界 第13回 愛する者への挽歌 (p. 80)、宮澤賢治と妹トシ 第14回 キックキックトントン (p. 232)、宮澤賢治の童話 第15回 夜色楼台雪万家 (p. 103)、与謝蕪村の詩と絵画	
進め方	季節にそったテーマをとりあげて、順次読んでいく。テキスト中の関連箇所も適宜あわせて扱う。関係する資料をできるだけ多く参照する。毎回授業の終わりに、200字程度のコメントを提出してもらう。		
テキスト	『詩歌の森へ』（芳賀徹、中公新書）	参考文献	芳賀徹『みだれ髪系の系譜』、『文化の往還』、『詩の国詩人の国』。
評価方法	授業中に書くコメント:60% 前・後期末のレポート:40%		

英文法		通年 4 単位	2年
細かい意味の違いまで区別できるようになるための英文法		中本 恭平 (なかもと きょうへい)	
ねらい	ひとつの文法形式にはひとつの意味がある。形式が同じなら意味に共通点があり、逆に形式が異なれば意味も異なる。互いに関連しあう文法形式を比較しながら、それぞれの文法形式が持つ意味を確認していく。		
授業計画	【前期】 第1回 前期ガイダンス (以下は予定である) 第2回 時制 (空間と時間) 第3回 単純現在と単純過去 第4回 単純現在と現在進行 第5回 現在進行と現在完了 第6回 現在完了と現在完了進行 第7回 単純過去と過去完了 第8回 話法と時制の一致 第9回 時制のまとめ 第10回 「未来」 第11回 法助動詞 [1] 第12回 法助動詞 [2] 第13回 法助動詞 [3] 第14回 前期の復習 第15回 前期試験	【後期】 第1回 後期ガイダンス 第2回 「使役動詞」とされる動詞群 第3回 受動文 第4回 不定詞と動名詞 第5回 定冠詞と不定冠詞 第6回 可算と不可算 第7回 There 構文 第8回 不定代名詞 第9回 形容詞 (限定と非限定) 第10回 関係詞 (制限と非制限) 第11回 否定表現 第12回 呼応 第13回 その他の文法項目 第14回 後期の復習 第15回 後期試験	
進め方	毎時間プリントを配布し、プリントに沿って講義する形で授業を進める。なお、本講座では、文の書き換えや空所補充などの練習や、各種検定試験対策の練習などはいっさい行わない。例年受講者が多く、大教室での講義になることが予想される。私語雑談、授業中の教室の出入りなどは厳禁します。また、出席は厳密に取ります。		
テキスト	市販のテキストは使用しない。	参考文献	短大図書館備え付けの「授業別・指定参考図書リスト」を参照。
評価方法	試験:80% 平常点:20%		

英語音声学		通年 4 単位	2年
英語発音の基礎理論と実践		狩野 郁子 (かのう いくこ)	
ねらい	英語の母音と子音の基礎理論を学習し、的確な英語発音の実践を目指す。聴き取り練習を通し、また、日本語音との対照分析により、理論を実践へ導く。		
授業計画	【前期】 第1回 Introduction to the course 第2回 Vowels 第3回 Lecture on front vowels and exercises 第4回 Lecture on central vowels and exercises 第5回 Lecture on back vowels and exercises 第6回 Wrap-up on vowels 第7回 Quiz on vowels 第8回 Introduction to consonants 第9回 Lecture on stops and exercises 第10回 Lecture on fricatives and exercises 第11回 Lecture on fricatives and exercises 第12回 Lecture on affricates and exercises 第13回 Lecture on affricates and exercises 第14回 Term exam I: Pronunciation 第15回 Term exam II	【後期】 第1回 Introduction to the course 第2回 Review of vowels and consonants 第3回 Lecture on nasals and exercises 第4回 Lecture on liquids and exercises 第5回 Lecture on semi-vowels and exercises 第6回 Wrap-up on all the consonants 第7回 Quiz on consonants 第8回 Wrap-up on all the vowels and consonants 第9回 Points in pronouncing a sentence 第10回 Points in pronouncing sentences 第11回 Points in pronouncing sentences 第12回 Points in pronouncing sentences 第13回 Wrap-up 第14回 Term exam I: Pronunciation 第15回 Term exam II	
進め方	母音、子音の順に、まずは基礎的な理論を講義し、それぞれの項目ごとに、聴き取り作業、発音練習を行い、的確な英語発音を目指す。		
テキスト	Sounds Right! Sounds Good! 村川久子著 マクミラン ランゲージハウス	参考文献	随時紹介していく。
評価方法	Participation, In-class tasks and Quizzes:30% Term Examinations:70%		

言語学概論		通年 4 単位	2年
ことばの諸様相		狩野 郁子 (かのう いくこ)	
ねらい	言語学の基本分野である、形態論、統語論、意味論、音声学・音韻論を、英語を基軸に基礎から学習する。様々な言語を観察し、表面的な相違をこえた、言語間に横たわる共通性の認識を促す。今まで聞いたことのないような言語を分析対象とし、考察することにより、母国語である日本語についての理解をも、より一層深めていただくことを望む。		
授業計画	【前期】 第1回 Introduction to the class 第2回 Morphology: classes of words 第3回 Morphology: rules of word formation 第4回 Morphology: rules of word formation 第5回 Morphology: word coinage 第6回 Exercises 第7回 Exercises 第8回 Quiz on morphology 第9回 Morphosyntax and English Syntax 第10回 Syntax 第11回 Tree diagrams 第12回 Tree diagrams 第13回 Exercises 第14回 Wrap-up 第15回 Term exam	【後期】 第1回 Introduction to the course 第2回 Vowels 第3回 Vowels 第4回 Vowels and consonants 第5回 Quiz on vowels 第6回 Consonants: stops 第7回 Consonants: fricatives 第8回 Consonants: fricatives 第9回 Consonants: affricates 第10回 Consonants: nasals, glides 第11回 Quiz on consonants and introduction to phonology 第12回 Phonology 第13回 Phonological analysis 第14回 Wrap-up 第15回 Term exam	
進め方	講義を中心にすすめていくが、各講義内容に対し、随時exercises, quizzesを課し、知識の確認をしていく。		
テキスト	プリント使用。学生は、A4サイズの入るファイルを一冊用意すること。	参考文献	授業時に随時指示する。
評価方法	Participation, In-class tasks and Quizzes:30% Term Examination:70%		

英語学概論		通年 4 単位	2年
「英語」を多角的にとらえる		長田 宣子 (おさだ のぶこ)	
ねらい	英語という言葉学を多角的にとらえるために必要な知識である、「英語の歴史」「音声学」「形態論」「統語論」「意味論」「社会言語学」「言語政策」「英語教育」などを概観する。非常に幅広い分野を扱うため、覚えなければならぬことも多く、難しいと感じるかもしれないが、英語という言葉学をより深く理解できるようになって欲しい。		
授業計画	【前期】 第1回 前期のガイダンス 第2回 ことばの起源と語族・人間のことばと言語研究 第3回 英語の発音とスペリング 第4回 英語の語彙の多様性 第5回 標準英語の成立 第6回 英語のヴァリエーション・ことばと変化 第7回 試験(1)：英語の歴史ほか 第8回 ことばと音声 第9回 音の組み合わせとアクセント 第10回 音声学の補足 第11回 音声学の補足 第12回 試験(2)：音声学ほか 第13回 単語ができるしくみ 第14回 文ができるしくみ 第15回 試験(3)：形態論・統語論ほか	【後期】 第1回 後期のガイダンス 第2回 ことばの意味とは何だろう・語の間の意味関係 第3回 意味の拡張・ことばの意味に見られる主観性 第4回 ことばの意味とコンテキスト 第5回 試験(4)：意味論ほか 第6回 まとまりのある文章 第7回 文章中の情報構造 第8回 ことばのやりとりにおけるルール 第9回 コミュニケーションの民俗誌・英語と文化 第10回 試験(5)：文体論・語用論・英語と文化 第11回 ことばと社会 第12回 ことばと国家 第13回 日本の英語教育と教授法 第14回 第二言語習得 第15回 試験(6)：社会言語学・言語政策・英語教育・言語習得	
進め方	基本的にはテキストに沿って進めていき、適宜、追加資料を配布する。講義形式が主となるが、しばしば意見や感想を書いてもらう予定である。ひとつの大きな単元ごとに試験を行い、知識の確認をする。必要があれば、課題やレポートを課すこともある。上記の授業計画はあくまで予定であり、進度や授業回数によって変わることもある。		
テキスト	長谷川瑞穂 編著『はじめての英語学』研究社 2006年	参考文献	適宜、授業中に紹介する
評価方法	出席状況:30% 試験:50% 課題提出・その他:20%		

英語史		通年 4 単位	2年
英語の成長と変化の歴史：英語の辿った歴史を内面史・外面史の両観点から概観し、印欧語族に属する英語への理解を深める。		片見 彰夫 (かたみ あきお)	
ねらい	goodの比較級がなぜbetterか、toothの複数形はどうしてteethなのかということが頭をよぎったことはありませんか。さらに、独仏語と似た単語が英語に存在するのはなぜなのでしょう。本講義では英語史の知識を得ることによって、様々な文化的要因が言葉に影響を及ぼしていることを見出し、英語学習が一層実り多いものになることを目指します。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス：英語史を学ぶ意義について 第2回 古英語の系譜：インドヨーロッパ語とゲルマン語 第3回 古英語の背景：ブリテン島の先住民とアングロサクソン人 第4回 古英語の方言と時代区分 第5回 古英語の文字と発音 第6回 古英語の語彙：ケルト語の影響 第7回 古英語の語彙：ラテン語、古ノルド語の影響 第8回 古英語の形態論 第9回 古英語の統語論 第10回 古英語作品読解と文法：Beowulf を読む(1) 第11回 古英語作品読解と文法：Beowulf を読む(2) 第12回 中英語の性格と方言 第13回 中英語の語彙 第14回 中英語の統語法 第15回 試験	【後期】 第1回 英語の復興：フランス語から英語へ 第2回 14世紀英語の語彙：フランス語、ラテン語等からの借入 第3回 14世紀英語の文法：語形の変化 第4回 14世紀英語の文法：統語法の変化 第5回 中英語作品読解と文法：Chaucer を題材に 第6回 中英語作品読解と文法：Morte D' Arthur を題材に 第7回 近代英語概観：標準英語の成立 英訳聖書 第8回 近代英語の語彙と意味変化 第9回 近代英語の統語変化 第10回 近代英語の読解と文法：Shakespeare を題材に 第11回 18世紀英語概観：規範文法の始まり 文法的特徴 第12回 18世紀小説の読解と文法：Henry Fieldingを題材に 第13回 The Oxford English Dictionaryについて理解を深める 第14回 アメリカ英語の成立と発展(語彙と方言) 第15回 試験	
進め方	講義が中心ですが、受講者の理解を深めるため、BBC製作の英語史に関する番組や中世英語文学作品がテーマとなっている映画等の視聴覚教材を適宜活用します。グループワークや自主リサーチも行うことで、受講生全員が自主的に楽しみながら学べるよう配慮します。丁寧に分かりやすく指導しますので心配は無用です。		
テキスト	『英語史』 英語学コース1 松浪 有(編)大修館書店 その他毎時補助教材として自作ハンドアウトを配布。	参考文献	短期大学図書館カウンターにある2009年度指定参考図書目録を参照のこと。
評価方法	前期定期試験:35% 後期定期試験:35% レポート:15% 小テスト、発表、参加意欲:15%		

意味論		通年 4 単位	2年
英語意味論入門		仁科 弘之 (にしな ひろゆき)	
ねらい	意味は母語の意識外にあり外国語文の解釈等で初めて思考の対象となります。文の意味は統語構造(文法)に依存している一方、意味計算自体は自己完結しています。統語的構成素と部分的な意味が対応していることを理解し、初歩的な意味計算ができるようになることを目標とします。(予定や内容は理解度により変わる可能性があります。)		
授業計画	【前期】 第1回 意味論とは何か 第2回 文と命題 第3回 名詞句の意味(1) 第4回 冠詞の意味 第5回 名詞句の意味(2) 第6回 述語の意味:動詞(1) 第7回 述語の意味:動詞(2) 第8回 述語の意味:普通名詞と形容詞 第9回 相と時制(1) 第10回 相と時制(2) 第11回 命題論理入門(1) 第12回 命題論理入門(2) 第13回 述語論理入門(1) 第14回 述語論理入門(2) 第15回 復習とまとめ(I)	【後期】 第1回 複雑な名詞句の意味論(1) 第2回 複雑な名詞句の意味論(2) 第3回 関係代名詞の意味論(1) 第4回 関係代名詞の意味論(2) 第5回 関係副詞の意味論 第6回 Yes-No疑問の意味論(1) 第7回 Yes-No疑問の意味論(2) 第8回 Wh疑問の意味論(1) 第9回 Wh疑問の意味論(2) 第10回 否定の意味論(2) 第11回 否定の意味論(1) 第12回 量化詞の意味論(1) 第13回 量化詞の意味論(2) 第14回 量化詞の意味論(3) 第15回 復習とまとめ(II)	
進め方	「文法」や「意味」という抽象的な世界に興味の有る方に向けています。講義に演習を加え詳説します。英文テキスト予め読んで考え、理解に努めてきて下さい。講義ノートをしっかりとのこと。(この意味で私語は厳禁。)語法の詳しい辞書と多色の筆記具があると便利。欠席が多いと単位修得は困難でしょう。集中力が必要です。		
テキスト	各回にプリント(英文中心)配布しますので、特に初回に必ず出席のこと。教科書の連絡もします。概念や用語の解説プリント(日本語)を配布。	参考文献	文献解題を配布し、講義時に随時紹介する。
評価方法	出席度:30% 講義の理解度:20% レポート(問題演習):50%		

異文化間コミュニケーション		通年 4 単位	2年
異文化間コミュニケーション		横溝 環(よこみぞ たまき)	
ねらい	本講義は、異文化間コミュニケーションに関する基本的理論を学ぶとともに、自己および他者への気づきを高め、その上で、自他の尊重が相互になされるようなコミュニケーションを探求していくことを目的とする。		
授業計画	【前期】 第1回 文化とは 第2回 コミュニケーションとは 第3回 自分とは 第4回 価値観と文化的特徴(1) 第5回 価値観と文化的特徴(2) 第6回 アイデンティティ 第7回 ステレオタイプと偏見(1) 第8回 ステレオタイプと偏見(2) 第9回 言語コミュニケーション(1) 第10回 言語コミュニケーション(2) 第11回 非言語コミュニケーション(1) 第12回 非言語コミュニケーション(2) 第13回 カルチャーショックと異文化適応 第14回 異文化コミュニケーションスキル 第15回 試験	【後期】 第1回 国内でおきる摩擦(1) 第2回 国内でおきる摩擦(2) 第3回 海外でおきる摩擦(1) 第4回 海外でおきる摩擦(2) 第5回 国際舞台でおきる摩擦(1) 第6回 国際舞台でおきる摩擦(2) 第7回 多文化共生社会(1) 第8回 多文化共生社会(2) 第9回 マスメディアの影響(1) 第10回 マスメディアの影響(2) 第11回 グループ・プロジェクト発表準備 第12回 グループ・プロジェクト発表(1) 第13回 グループ・プロジェクト発表(2) 第14回 グループ・プロジェクト発表(3) 第15回 まとめ	
進め方	講義とともに、それに関連したエクササイズを行なう。さらに、それらをグループ討議または全体討議へとつなげていく(受講者の積極的参加を望む)。コメント(その日の授業での気づき等)または課題を授業の最後に毎回提出してもらう。		
テキスト	特に定めず、配布資料を活用する。	参考文献	八代京子ほか著『異文化コミュニケーション・ワークブック』(三修社) その他、授業で適宜示す。
評価方法	コメントおよび課題:40% 試験:20% プロジェクト発表:20% プロジェクトレポート:20%		

英国史		通年 4 単位	2年
イギリスの過去を知り、現在を知る		甲斐 祥子 (かい しょうこ)	
ねらい	各人が抱く多様なイギリス像—議會制の母国、伝統のある美しい国、先端的な若者文化の国、フーリガンの国等々—これらはすべて、イギリスの歴史に根ざしている。歴史を知ること、表面的なイギリス像の下に見えてくるものがある。本講義では、英国史を通じ、過去が現在をいかに形作っているかを洞察し、イギリスへの理解を深めることをめざす。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンスと序論 第2回 イギリスの歴史のはじまり 第3回 アングロ・サクソン民族とイギリスの基礎 第4回 イングランド王国の形成 第5回 ノルマン人の征服1 第6回 ノルマン人の征服2 第7回 イングランド封建国家 第8回 アンジュー帝国 第9回 イギリス立憲政治の基礎1 第10回 イギリス立憲政治の基礎2 第11回 島国国家の形成 第12回 百年戦争と封建社会の変容1 第13回 百年戦争と封建社会の変容2 第14回 ばら戦争とチューダー朝の創始 第15回 試験	【後期】 第1回 イングランド宗教改革1 第2回 イングランド宗教改革2 第3回 エリザベス時代の光と影 第4回 イギリス革命1 第5回 イギリス革命2 第6回 イギリス革命3 第7回 名誉革命体制 第8回 植民地帝国の形成 第9回 二重革命の時代 第10回 改革の時代から繁栄の時代へ 第11回 大英帝国の繁栄と衰退 第12回 帝国主義の時代 第13回 2つの世界大戦 第14回 新しい時代のイギリス 第15回 試験	
進め方	時代順にテーマを設定し、1つのテーマを1～3回かけて論ずる。テキストを読み進めるという形式はとらないが、参考資料および補助教材として用いるので、授業時にはテキストを持参すること。		
テキスト	指昭博『図説 イギリスの歴史』（河出書房新社）	参考文献	『（世界歴史大系）イギリス史1, 2, 3』（山川出版社）、『（新版世界各国史11）イギリス史』（山川出版社）、『イギリスの歴史』（有斐閣）
評価方法	試験:70% 出席:30%		

米国史		通年 4 単位	2年
アメリカ史概説		石井 朋子 (いしい ともこ)	
ねらい	アメリカという国がどのように建設され、どのような経緯で現在に至ったかを、グローバルな視点を取り入れながら解説していく。あわせて、歴史を学ぶ意義や楽しさを感じてもらいたい。		
授業計画	【前期】 第1回 はじめに—歴史を学ぶということ 第2回 1492年以前のアメリカ大陸と世界 第3回 コロンブスによる「新大陸」の発見 第4回 イギリスによる北アメリカ大陸の植民 第5回 「丘の上の町」—ビュリタンによる植民地建設 第6回 他のヨーロッパ諸国の植民活動とイギリス領土の拡大 第7回 険悪化するイギリスとアメリカ植民地の関係 第8回 独立戦争の勃発と独立宣言 第9回 アメリカ建国期—共和国建設の模索 第10回 西方膨張とマニフェスト・デスティニー 第11回 奴隷制度と南北間の対立 第12回 南北戦争 第13回 南部の再建 第14回 まとめ 第15回 定期試験	【後期】 第1回 大西部開拓とアメリカ先住民の運命 第2回 工業化、都市化するアメリカ社会 第3回 新移民の流入 第4回 米西戦争—海外膨張の始まり 第5回 革新主義の時代 第6回 第一次世界大戦とアメリカ 第7回 1920年代のアメリカ 第8回 大恐慌とニューディール政策 第9回 第二次世界大戦とアメリカ 第10回 冷戦下のアメリカ 第11回 公民権運動の高まり 第12回 ベトナム戦争とアメリカ 第13回 保守化するアメリカ 第14回 9.11以降のアメリカ、そしてオバマ政権の誕生 第15回 定期試験	
進め方	基本的には講義中心となるが、一方通行の授業にならぬよう配布プリントを使つての作業なども取り入れていく。		
テキスト	特に定めなし。	参考文献	授業中に適宜紹介する。
評価方法	出席:10% 課題提出と小テスト:20% 定期試験:70%		

英国論		通年 4 単位	2年
20世紀イギリス社会の変容 – エスニシティ、ジェンダー、階級を分析軸として		酒井 順子（さかい じゅんこ）	
ねらい	20世紀以降のイギリス社会は、二つの世界大戦、帝国の解体、移民・難民の増加、EU統合などを経過して大きな変容を遂げてきた。かつてイギリスは、近代化や民主化のモデルとして、あるいは豊かな白人ミドルクラスの国として概観されたが、この授業ではエスニシティ、ジェンダー、階級の視点から20世紀以降のイギリス社会の変容を検討して		
授業計画	【前期】 第1回 イントロダクション：イギリスとは 第2回 白人ミドルクラスのイギリス 第3回 帝国としてのイギリス 第4回 ポストコロナルのイギリス 第5回 エスニシティの概念 第6回 イギリスのエスニックコミュニティ 第7回 エスニシティ：差別と偏見 第8回 エスニシティ：カリブ移民の歴史 第9回 エスニシティ：カリブ移民のライフストーリー 第10回 エスニシティ：世代間の葛藤—『ぼくの国とパパの国』 第11回 エスニシティ：911以降—映画『ヤスミン』 第12回 エスニシティ：移民間の差異—『ブラックオンブラック』 第13回 エスニシティ：難民問題 第14回 新たなナショナル・アイデンティティの可能性 第15回 まとめ	【後期】 第1回 分析軸としてのエスニシティ、ジェンダー、階級 第2回 ジェンダー：20世紀初頭のフェミニズム 第3回 ジェンダー：第一次世界大戦と女性 第4回 ジェンダー：第二次世界大戦と女性 第5回 ジェンダー：第二波フェミニズムと女性の地位 第6回 ジェンダー：20世紀家族の変容 第7回 ジェンダー：多様化するセクシュアリティ 第8回 階級から見るイギリス：階級の定義 第9回 階級意識：『長距離ランナーの孤独』 第10回 階級意識：『ケス』と『リトルダンサー』 第11回 階級：アンダークラスと社会的排除 第12回 「階級の死」をめぐる議論 第13回 エスニシティ、ジェンダー、階級の交差点 第14回 私たちは「新たなイギリス像」を描けるか 第15回 まとめ	
進め方	ドキュメンタリー、映画、ライフストーリーなどを参照しながら、20世紀イギリス社会の変容を検討していく。前期は、日本における英国論の変遷を概観した後、エスニシティをめぐる諸問題を検討する。後期は、ジェンダーと階級の視点を中心に、20世紀以降のイギリス社会を検討していきながら今日のイギリス像を探る。		
テキスト	特に使用しない。必要に応じてプリントを配布する。	参考文献	授業中に適宜紹介する。
評価方法	出席:20% コメント・小レポート:30% 前期末試験:20% 後期最終試験:30%		

米国論		通年 4 単位	2年
米国の人種問題をよりよく理解する		日吉 和子（ひよし かずこ）	
ねらい	バラク・オバマが、昨年激しい選挙戦に勝利し、今年1月、米国史上初のアフリカ系アメリカ人大統領が誕生した。その一方で、米国の歴史は彼らに対する人種差別の歴史でもあり、米国社会は依然として彼らに対する人種差別問題を抱えていると言えます。この授業では、その人種差別問題を様々な資料を通して考えてゆきます。		
授業計画	【前期】 第1回 授業の進め方と内容についての概要説明 第2回 人種の視点から見た米国史についての概説 第3回 アフリカ系アメリカ人の歴史についての概説 (1) 第4回 アフリカ系アメリカ人の歴史についての概説 (2) 第5回 英文資料No. 1の日本語訳のグループ発表 第6回 引き続き資料No1の日本語訳のグループ発表 第7回 引き続き資料No1の日本語訳のグループ発表 第8回 資料No1についてのまとめ 第9回 英文資料No2の日本語訳のグループ発表 第10回 引き続き資料No2の日本語訳のグループ発表 第11回 引き続き資料No2の日本語訳のグループ発表 第12回 引き続き資料No2の日本語訳のグループ発表 第13回 資料No2についてのまとめ 第14回 前期総まとめ 第15回 試験	【後期】 第1回 英文資料No3の日本語訳グループ発表 第2回 引き続き資料No3の日本語訳のグループ発表 第3回 引き続き資料No3の日本語訳のグループ発表 第4回 引き続き資料No3の日本語訳のグループ発表 第5回 資料No3についてのまとめ 第6回 英文資料No4の日本語訳のグループ発表 第7回 引き続き資料No4の日本語訳のグループ発表 第8回 引き続き資料No4の日本語訳のグループ発表 第9回 資料No4についてのまとめ 第10回 英文資料No5の日本語訳のグループ発表 第11回 引き続き資料No5の日本語訳のグループ発表 第12回 引き続き資料No5の日本語訳のグループ発表 第13回 資料No5 についてのまとめ 第14回 後期総まとめ 第15回 試験	
進め方	最初に、受講生を幾つかのグループに分け、予め配布する英文資料の日本語訳をグループ単位で発表してもらい、その内容について全体で考えて行きます。その際、人種問題に関連する重要な歴史的事項や用語について解説を加えてゆきます。		
テキスト	英文資料のプリントを配布します。	参考文献	随時、必要と思われる時に指示します。
評価方法	試験 (2回) :80% 平常点 (出席含む) :20%		

英国思想		通年 4 単位	2年
イギリスの思想を手がかりに、現代社会を歴史的に考える		板井 広明 (いたい ひろあき)	
ねらい	議会制度が成熟し、ジェントルマンが活躍したイギリス社会。産業化に対しては、ロマン主義が対抗し、その拮抗からは、政治・経済・文化・ファッションなどの領域で、さまざまな動きが生まれます。イギリスを歴史的に考察することは、現代社会を考察することにもつながるといふ視点を持ちつつ、イギリス的なものを明らかにしたいと思います。		
授業計画	【前期】 第1回 オリエンテーション～イギリス的なもの(1) 第2回 オリエンテーション～イギリス的なもの(2) 第3回 英国思想の伝統：古代ギリシャ・ローマ、キリスト教 第4回 中世から近代への社会の変容 第5回 エリザベス1世とヘンリー8世 第6回 宗教戦争と名誉革命：ホップズとロック 第7回 王立協会とシェークスピア 第8回 自生的秩序：マンデヴィルとデフォー 第9回 イングランドなるもの、対フランス意識 第10回 イギリス経験論の系譜：パークリーとヒューム 第11回 スコットランド啓蒙：スミス 第12回 ポリティカル・エコノミーとモラル・エコノミー 第13回 フランス革命の衝撃：パークとペイン 第14回 ウーマン・パワー：ウルストンクラフトとオースティン 第15回 前期試験	【後期】 第1回 メディアと公共圏：新聞・雑誌の誕生 第2回 近代都市の誕生 第3回 救貧法と人口論：マルサス 第4回 パノプティコンと改革の思想：ベンサム 第5回 オウエンの協同社会：コミュニティーの思想 第6回 公衆衛生と社会：チャドウィック 第7回 ロマンティズム：コールリッジ、ワーズワース 第8回 功利主義とロマンティズム：J. S. ミル 第9回 教養と無秩序：アーノルド 第10回 ジェントルマンの世界：ダンディズム 第11回 博覧会と観相学：S. ホームズの世界 第12回 ラスキーン、モリス、ラファエル前派 第13回 ヴィクトリア時代の女性：クリノリンとコルセット 第14回 社会と美：パーティーと社交界 第15回 後期試験	
進め方	基本的にシラバスに即して講義形式で行なう。ただし、できるだけ画像や映像などを参考資料にして、受講者の理解を深めたい。また場合によっては、グループ毎のディスカッションも行ない、歴史に素材を求めつつも、現代的な問題について考えるようにしたい。		
テキスト	特に指定はなく、毎回レジュメを配布します。	参考文献	授業中に指示します。
評価方法	平常点:50% 試験:50%		

米国思想		通年 4 単位	2年
アメリカ的な“ものの見方”を考える		池田 孝一 (いけだ こういち)	
ねらい	アメリカ人の原型と言われるアメリカ建国の父祖の一人であるベンジャミン・フランクリンの『自伝』、及び公民権を獲得しついに大統領の地位につくまでに到ったアフリカ系アメリカ人の歴史を証言する『アメリカ黒人演説集』をキー・テキストにして、アメリカの思想を学ぶ。		
授業計画	【前期】 第1回 イントロダクション 第2回 ビューリタニズム 第3回 啓蒙思想 第4回 『フランクリン自伝』(1) 第5回 『フランクリン自伝』(2) 第6回 『フランクリン自伝』(3) 第7回 『フランクリン自伝』(4) 第8回 建国思想 第9回 コモン・マンの思想 第10回 シンプル・ライフの思想 第11回 アメリカの宗教(1) 第12回 フロンティア精神 第13回 プラグマティズム 第14回 まとめと討議 第15回 前期試験	【後期】 第1回 奴隷制度の背景 第2回 『アメリカの黒人演説集』(1) 第3回 『アメリカの黒人演説集』(2) 第4回 『アメリカの黒人演説集』(3) 第5回 『アメリカの黒人演説集』(4) 第6回 アメリカの宗教(2) 第7回 ダーウィニズム 第8回 反知性思想 第9回 女性の権利 第10回 ネイティヴ・アメリカン(1) 第11回 ネイティヴ・アメリカン(2) 第12回 自然・環境思想 第13回 現代アメリカの問題 第14回 まとめと討議 第15回 後期試験	
進め方	講義の形式で授業を進めるが、出席者は今年とりあげる二作品を熟読して出席すること。時折出席者の意見を求める。		
テキスト	『フランクリン自伝』(中公クラシックス)及び『アメリカ黒人演説集』(岩波文庫)	参考文献	毎回授業時に指示する。
評価方法	平常点:30% 試験:70%		

比較文化		通年 4 単位	2年
岩倉使節団の米・英見聞記を読む		加納 孝代 (かのう たかよ)	
ねらい	明治時代の日本人が記したアメリカとイギリスの旅行記の原文を、旅程に沿って読み、当時の日本人の目に映った、今から約140年前の米国と英国の姿を明らかにする。またその旅行記の文章の味読・精読を通じて、彼らが自分と異なる文化や社会をどのように受け止めたかを理解し、現在の私たちにも必要とされる比較文化的視点を探る。		
授業計画	【前期】 第1回 岩倉使節団の世界旅行全体と、アメリカ見聞の概要 第2回 太平洋の船旅、合衆国総説、サンフランシスコの1 第3回 サンフランシスコの2。学校(小学校、大学)見学 第4回 アメリカ横断鉄道旅行の1。シエラネヴァダ山脈を越える 第5回 アメリカ横断鉄道旅行の2。ユタとロッキー山脈 第6回 アメリカ横断鉄道旅行の3。シカゴからワシントンDCへ 第7回 ワシントンDCの1。共和国の精神。奴隷制度について 第8回 ワシントンDCの2。市内の各種政府機関見学 第9回 ニューヨークの1。セントラルパーク。マンハッタン 第10回 北部諸州見聞記の1。ウェストポイント、ナイアガラ 第11回 北部諸州見聞記の2。ボストン市内。太平楽会 第12回 ワシントンDCの3。合衆国南部諸州について 第13回 フィラデルフィア市訪問。大統領制度の概要。工場見学 第14回 ニューヨークの2。米国経済の中心地。パイプ会社 第15回 ボストン近郊の木綿、羊毛紡織工場	【後期】 第1回 岩倉使節団のイギリス見聞の概要。イギリス総説 第2回 ロンドンの1。ケンジントンの方博と英国産業の発展 第3回 ロンドンの2。小学校見学。倫敦塔、水晶宮ほか 第4回 リヴァプールの1。ドック見学。進んだ港湾施設の役割 第5回 リヴァプールの2。造船所、機関車・レール工場 第6回 マンチェスターの1。板ガラス、木綿紡織工場など 第7回 マンチェスターの2。禁酒団体。商工会議所。裁判所 第8回 グラスゴー市内の商業施設。プラントイル邸 第9回 エディンバラ市内見学。ロスリン教会。ベルロック灯台 第10回 スコットランドのハイランド紀行の1。ピトロクリ村 第11回 スコットランドのハイランド紀行の2。トロザック地方 第12回 ブラドフォード。社会福祉モデル都市ソルテア 第13回 シェフィールドの製鉄工場 第14回 パーミンガムと陶磁器のチェスター 第15回 ロンドンの3。イギリス視察の総括	
進め方	テキスト『米欧回覧実記』の第1巻「アメリカ編」と第2巻「イギリス編」を、原文に即して読んでいく。紀行内容については要約を用意するが、毎回重要箇所を音読を行なうので、テキストは必携。関連する資料(地図・写真・文献)をできるだけ多く参照する。毎回授業の終りに、200字程度のコメントを提出してもらう。		
テキスト	久米邦武『米欧回覧実記』第1巻、第2巻(岩波文庫)。(4月時点で2冊とも同時に買っておくように)	参考文献	『特命全権大使「米欧回覧実記」銅版画集』(久米美術館)、『久米邦武文書』1~4(吉川弘文館)、『(久米博士九十年回顧録)上・下(宗高書房)』
評価方法	授業中のコメント:60% 前・後期のレポート:40%		

人種問題		通年 4 単位	2年
多文化主義アメリカをさぐる		君塚 淳一(きみづか じゅんいち)	
ねらい	主にアメリカにおける人種問題を中心に、時代背景・政治・経済・芸術・宗教など様々な分野から捉え、異文化理解・コミュニケーション・文学/文化研究などをする上での基礎知識およびその考え方を養う。		
授業計画	【前期】 第1回 オリエンテーション(多文化主義アメリカと人種問題) 第2回 差別と偏見を考える(1) 第3回 差別と偏見を考える(2) 第4回 差別と偏見を考える(3) 第5回 映像、記事などによる分析と討論(差別・偏見について) 第6回 アメリカの多民族と多文化主義(概説) 第7回 アフリカ系アメリカ人(1) 第8回 アフリカ系アメリカ人(2) 第9回 アフリカ系アメリカ人(3) 第10回 映像、記事の分析と討論(アフリカ系アメリカ人について) 第11回 ユダヤ系アメリカ人(含むヨーロッパのユダヤ人)(1) 第12回 ユダヤ系アメリカ人(含むヨーロッパのユダヤ人)(2) 第13回 ユダヤ系アメリカ人(含むヨーロッパのユダヤ人)(3) 第14回 映像、記事の分析と討論(ユダヤ系アメリカ人について) 第15回 前期のまとめ、課題などについての説明	【後期】 第1回 課題についてのコメント、映像、記事の分析と討論 第2回 日系アメリカ人(1) 第3回 日系アメリカ人(2) 第4回 日系アメリカ人(3) 第5回 映像、記事の分析と討論(日系アメリカ人について) 第6回 先住民が抱える問題について(概説) 第7回 アメリカ先住民(1) 第8回 アメリカ先住民(2) 第9回 アメリカ先住民(3) 第10回 映像、記事の分析と討論(アメリカ先住民について) 第11回 アメリカその他の少数民族とアメリカの課題(1) 第12回 アメリカその他の少数民族とアメリカの課題(2) 第13回 改めてアメリカ、その多民族と多文化主義を考える(1) 第14回 改めてアメリカ、その多民族と多文化主義を考える(2) 第15回 前期・後期の総復習、後期試験などについての説明	
進め方	アフリカ系アメリカ人、ユダヤ系アメリカ人、アメリカ先住民、日系アメリカ人ほか、多民族・多文化で構成されるアメリカを、活字資料、映像資料などを中心に考える。同時に何が偏見や差別を生むのか、ステレオタイプ化された表現、描写に惑わされることなくどうすれば真実が見れるかも共に考えたい。		
テキスト	『アメリカ映像文学に見る少数民族』(大阪教育図書)	参考文献	授業中にその都度、指示をする。
評価方法	出席:20% レポート:30% 試験:50%		

文学基礎演習 I		前期 2 単位	1年
チカーナ（メキシコ系アメリカ人女性）の少女が語る〈自分探し〉の物語		齋藤 修三（さいとう しゅうぞう）	
ねらい	受験英語を卒業したい学生諸君に、原文で文学を読むスリリングな魅力を味わってほしい。思春期の少女がシカゴのストラム街で育ちながら「本当の自分」と出会い、居場所を見つけるまでの軌跡を追うことで、民族・階級・ジェンダーをめぐって差別や抑圧をもたらす「見えない境界線/ボーダー」が縦横にはりめぐらされた多文化社会アメリカの実情に迫		
授業計画	【前期】 第1回 イントロ～AV資料 第2回 テキスト講読 第3回 テキスト講読 第4回 テキスト講読 第5回 テキスト講読 第6回 テキスト講読 第7回 テキスト講読～中間レポート説明 第8回 中間レポート締め切り～小まとめ 第9回 テキスト講読 第10回 テキスト講読 第11回 テキスト講読 第12回 テキスト講読 第13回 テキスト講読 第14回 テキスト講読～期末レポート説明 第15回 期末レポート締め切り～まとめ		
進め方	今後ますますボーダーレス化が進み、多文化化する日本社会において、ぼくたちはどのような姿勢で他者と向き合うべきなのか？他人事ではなく、このような当事者意識を、テキスト読解や解釈、自由な質疑応答とディスカッションを通じてながら磨いてゆく。		
テキスト	Sandra Cisneros, <i>The House on Mango Street</i> , New York: Vintage Books, 1989	参考文献	大泉・牛島共編『アメリカのヒスパニック＝ラティーノ社会を知るための55章』明石書店、シスネロス『マンゴー通り、ときどきさよなら』晶文社
評価方法	レポート2本:60% 出席・議論への参加度:30% メールレポート:10%		

文学基礎演習 I		前期 2 単位	1年
Enjoy Shakespeare!		松村 伸一（まつむら しんいち）	
ねらい	翻訳でかまわないからシェイクスピアの作品を読んでみよう。そして自分なりに発見したその面白さを、他の人と分かち合ってみよう—というわけで、翻訳・映像・原文（一部）を通してシェイクスピア作品に接し、楽しんでいただきたい。また、発表の準備を通して、作品内容をハンドアウトにまとめる作業などにも、習熟してほしい。		
授業計画	【前期】 第1回 インTRODクッション：担当作品割り当てアンケート 第2回 エリザベス朝演劇の背景：担当作品決定 第3回 『タイタス・アンドロニカス』：発表見本 第4回 『リチャード三世』 第5回 『ロミオとジュリエット』 第6回 『夏の夜の夢』 第7回 『ヴェニス商人』 第8回 『から騒ぎ』 第9回 『恋の骨折り損』 第10回 『ハムレット』 第11回 『十二夜』 第12回 『オセロー』 第13回 『マクベス』 第14回 『あらし（テンペスト）』 第15回 まとめ		
進め方	学生による発表が中心。3人程度のグループで、作品のあらすじ・登場人物の関係図・名セリフの紹介（与えられた原文の解釈）・ハイライトシーンのビデオ鑑賞（映像は原作をどう解釈しているか）、などを一時間程度にまとめて発表してもらおう。最後に簡単な意見交換と補足説明を行なう。		
テキスト	各自で用意すること。最低限、自分の担当作品は購入してほしい。（1）ちくま文庫、（2）白水Uブックス、（3）新潮その他の文庫版という順序でお勧め	参考文献	河合祥一郎『シェイクスピアは誘う』（小学館）、戸所宏之『はじめてのシェイクスピア』（PHP研究所）、狩野良規『映画になったシェイクスピア』
評価方法	出席:15% 発表:15% レポート:70%		

文学基礎演習Ⅱ		後期 2 単位	1年
60年代ポピュラー音楽に見る文化の詩学・政治学入門		齋藤 修三（さいとう しゅうぞう）	
ねらい	受験英語を卒業したい学生諸君に、英語で文学を読むスリリングな魅力を味わってほしい。英語詩に慣れ親しむきっかけとして、ポピュラー音楽の歌詞を題材としながら、アメリカ1960年代の若者たちが推し進めた「対抗文化/カウンター・カルチャー」の息吹に触れる。		
授業計画	【後期】 第1回 イントロベトナム戦争 第2回 ベトナム反戦の歌 第3回 同上 第4回 同上 第5回 アメリカン・ドリーム/欲望消費社会 第6回 同上 第7回 同上～中間レポート説明 第8回 中間レポート締め切り～若者vs大人社会 第9回 若者vs大人社会 第10回 貧困と差別 第11回 同上 第12回 対抗文化の光と影 第13回 同上 第14回 同上～期末レポート説明 第15回 期末レポート締め切り～まとめ		
進め方	予習は、歌詞の意味・解釈を辞書等を使って準備したり、質問に対する考えを準備する。講義・リポーターによる発表・ディスカッション・AV鑑賞などが中心となる。		
テキスト	プリント	参考文献	随時紹介
評価方法	レポート2本:60% リポーター回数:20% 出席・議論への参加度:10% メールレポート:10%		

文学基礎演習Ⅱ		後期 2 単位	1年
翻訳の愉しみ―読解・解釈・表現―		松村 伸一（まつむら しんいち）	
ねらい	英文和訳というと効率の悪い学習法として槍玉に挙げられることが多いが、翻訳という作業は、外国文学研究の重要な要素であり、苦労も多いがやりがいもある作業である。この授業では、短編小説を題材に、毎回指定された一定量の英文を翻訳し、訂正する訓練を積むことで、原文理解力と日本語表現力の総合としての《翻訳能力》を高めることを目指す。		
授業計画	【後期】 第1回 オリエンテーション：コンピュータ利用方法の確認など 第2回 課題1：Tim Burton, "Anchor Baby" 第3回 課題2：Ursula K. Le Guin, "The Wife's Story" (1) 第4回 課題3：Ursula K. Le Guin, "The Wife's Story" (2) 第5回 課題4：Ursula K. Le Guin, "The Wife's Story" (3) 第6回 課題5：Diana Wynne Jones, "The Girl Jones" (1) 第7回 課題6：Diana Wynne Jones, "The Girl Jones" (2) 第8回 課題7：Diana Wynne Jones, "The Girl Jones" (3) 第9回 課題8：Diana Wynne Jones, "The Girl Jones" (4) 第10回 課題9：Jean Rhys, "Mannequin" (1) 第11回 課題10：Jean Rhys, "Mannequin" (2) 第12回 課題11：Jean Rhys, "Mannequin" (3) 第13回 課題12：Jean Rhys, "Mannequin" (4) 第14回 最終課題の作成方法について 第15回 課題発表と相互評価		
進め方	電子掲示板システムを利用して、毎回250語程度の英文の訳文を、予め提出してもらい、授業時間の前半には、ウェブ上の解説や他の学生の訳文を参考に、各自、自分の訳文を修正・推敲。後半には、次回指定箇所までの物語展開を、口頭で解説する。自宅からインターネット接続可能であるが、空き時間に短大情報処理室を利用できることが望ましい。		
テキスト	翻訳課題となる詩1篇と現代英米女性作家の短編小説3作品を、プリントで配布する。	参考文献	深町真理子『翻訳者の仕事部屋』（ちくま文庫、2001年）、『ユリイカ』「特集：翻訳作法」（青土社、2005年1月号）、ほか。
評価方法	出席:15% 課題提出状況:45% 期末課題:35% 最終課題相互評価:5%		

総合英語基礎 I		前期 1 単位	1年
英語の基礎力養成講座 (リスニング中心)		長田 宣子 (おさだ のぶこ)	
ねらい	英語の基礎力、特にリスニングに自信のない学生が、繰り返し聞き取りの訓練をすることなどにより、英語を聞く力を身につけることを主目的とする。さらに、副教材を通して、リスニングだけでなく語彙や文法などの総合的な英語力を伸ばすことも目指す。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 Skit 1. Introductions (授業レベルの案内を行う) 第2回 Skit 2. Family & Chapter 1. Hamburger History 第3回 Skit 3. Movies & Chapter 1 つづき 第4回 Skit 4. Sports & Chapter 2. Rings and Things 第5回 Skit 5. Travel & Chapter 2 つづき 第6回 Skit 6. Recipes & Chapter 3. Bringing up Baby 第7回 Skit 7. Eating Out & Chapter 3 つづき 第8回 Skit 8. Fitness & Chapter 4. The Bhutanese 第9回 Skit 9. Health & Chapter 4 つづき 第10回 Skit 10. Music & Chapter 5. Into the Wilderness 第11回 Skit 11. Friends & Chapter 5 つづき 第12回 Skit 12. The Past & Chapter 6. Jade 第13回 Skit 13. The Future & Chapter 6 つづき 第14回 Skit 14. Directions 第15回 試験		
進め方	毎時間、一定量の英語を何度も聞いて書き取ってもらい、答え合わせをする。聞き取れなかった部分を中心に、なぜ聞き取れなかったのかを分析する。発音練習も多く行う。またさらなる聞き取りの練習をするために、DVD付きの副教材を用いて2週に一度ディクテーションの課題を提出してもらう予定である。		
テキスト	主教材：配布プリント 副教材：Welcome to BBC on DVD. 2009年. 成美堂 (総合英語基礎IIと同じテキスト)	参考文献	
評価方法	出席状況:30% 課題:20% 定期試験:50%		

総合英語基礎 I		前期 1 単位	1年
リスニング基礎		湯本 久美子 (ゆもと くみこ)	
ねらい	英語を正しく聞き取る基礎能力の習得を目的とし、基本的リスニング力に不安を持っている学生を受講対象としています。毎回テープを聴いて書き取る訓練を行うと同時に、基本的な音声の法則(音の弱化・短縮・消失・同化・連結)と発音記号の見方を学びます。聞き取りに慣れるように教科書に加え多様な教材を使用します。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 イントロダクション：“Introduction”本講座で学習するリスニングのレベルを紹介します 第2回 母音 / “Family” 第3回 子音 / “Movies” 第4回 Unit 1 音の短縮 / “Sports” 第5回 Unit 2 音の短縮 / “Travel” 第6回 Unit 3 音の消失 / “Recipes” 第7回 Unit 4 音の連結 / “Eating Out” 第8回 Unit 5 音の脱落 / “Fitness” 第9回 Unit 6 音の脱落 / “Health” 第10回 Unit 7 音の同化 / “Music” 第11回 Unit 8 音の同化 / “Friends” 第12回 Unit 9 音の弱化 / “The Past” 第13回 Unit 10 音の弱化 / “The Future” 第14回 まとめ 第15回 定期試験		
進め方	毎回、前半はテキストに基づいて音声の法則を学習し、後半はテキストに加え短い文章を繰り返し聴き、書き取る練習をします。最後に短い会話のクイズをしますが、その内容はICEのテーマとリンクしています。		
テキスト	Martin, Ed & Tsukasa Matui. 2003. The Essence of College English Dictation. 『大学英語ディクテーションのエッセンス』. 朝日出版 英和辞書を持	参考文献	必要に応じて授業中に適宜紹介します。
評価方法	期末試験:50% 平常点(クイズ・出席・授業態度):50%		

総合英語基礎Ⅱ		後期 1 単位	1年
英語の基礎力養成講座（文法・語法中心）		長田 宣子（おさだ のぶこ）	
ねらい	英語の基礎力、特に文法・語法に自信のない学生が、多くの文法・語法問題を解くことなどにより、より英語らしい表現力を身につけることを目的とする。扱う文法・語法項目は、日本人が間違いやすいものとする。さらに、副教材を通して、文法・語法だけでなく語彙やリスニング力などの総合的な英語力を伸ばすことも目指す。		
授業計画	【後期】 第1回 ガイダンス（授業レベルの案内を行う） 第2回 「名詞」(1) & Chapter 7. The Mongols 第3回 「名詞」(2) & Chapter 7. つづき 第4回 「動詞」(3) & Chapter 8. Diamonds 第5回 「動詞」(4) & Chapter 8. つづき 第6回 「形容詞・副詞」(1) & Chapter 9. Gorillas 第7回 「形容詞・副詞」(2) & Chapter 9. つづき 第8回 中間試験 第9回 「冠詞」 & Chapter 10. A Father's Labor 第10回 「接続詞」 & Chapter 10. つづき 第11回 「時制・語順」 & Chapter 11. Queues 第12回 「カタカナ英語」 & Chapter 11. つづき 第13回 「イディオム」 & Chapter 12. Learning to See 第14回 「その他」 & Chapter 12. つづき 第15回 試験		
進め方	日本人英語学習者によく見られる文法・語法の間違いを取り上げ、問題を解き、なぜ間違えやすいのかを考える。また、DVD付き副教材を用いて、聞き取りの練習などもしてもらおう。知識定着のための小テストも行う。		
テキスト	主教材：配布プリント 副教材：Welcome to BBC on DVD. 2009年. 成美堂。（総合英語基礎Iと同じテキスト）	参考文献	
評価方法	出席状況:30% 小テスト:20% 中間・定期試験:50%		

総合英語基礎Ⅱ		後期 1 単位	1年
文法基礎		湯本 久美子（ゆもと くみこ）	
ねらい	基本的な文法知識の習得を目的とし、基礎文法力に不安を持っている学生を受講対象としています。文法項目の中から理解の不足がちな項目を重点的にとりあげます。		
授業計画	【後期】 第1回 イントロダクション / Lesson 1 文型 (1) 第2回 Lesson 2 文型 (2) 第3回 Lesson 7 進行形 第4回 Lesson 8 完了形 (1) 第5回 Lesson 9 完了形 (2) 第6回 Lesson 12 態 (1) 第7回 Lesson 14 不定詞 (1) 第8回 Lesson 16 分詞 (1) 第9回 Lesson 17 分詞 (2) 第10回 Lesson 18 動名詞 (1) 第11回 Lesson 22 関係詞 (1) 第12回 Lesson 23 関係詞 (2) 第13回 Lesson 24 仮定法 (1) 第14回 まとめ 第15回 定期試験		
進め方	毎回指定のLessonを予習し、どこがわからないのかを明確にしてから授業に参加することが必須です。担当者による文法項目概説に続き、Exercisesを解いていきます。クイズを毎回行います。		
テキスト	福井慶一郎・加藤主税. 2007. 『読むための基礎英文法』. 朝日出版社. 「学習用」英和辞書を持参のこと	参考文献	必要に応じて授業中に適宜紹介します。
評価方法	期末試験:50% 平常点（クイズ・出席・授業態度）:50%		

総合英語		前期 2 単位	1・2年
		フィリップス (PHILLIPS, J. R.)	
ねらい	This course will use the seven-part TOEIC format to introduce strategies that will help students improve their comprehension of spoken and written English. At the same time, students who make effort can expect a significant improvement in their TOEIC scores.		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 Course Introduction - TOEIC Part 1 Pictures 第2回 Part 1 Pictures - Part 2 Question and Response 第3回 Part 2 Question and Response - Part 3 Conversations 第4回 Part 3 Conversations - Part 4 Short Talks 第5回 Part 4 Short Talks 第6回 TOEIC Listening Summary and TOEIC Listening Quiz 第7回 Quiz Feedback and Listening Review 第8回 TOEIC Reading - Part 5 Incomplete Sentences 第9回 Part 5 Incomplete Sentences - Part 6 Text Completion 第10回 Part 6 Text Completion -Part 7 Reading Comprehension 第11回 Part 7 Reading Comprehension 第12回 TOEIC Reading Summary and TOEIC Reading Quiz 第13回 Quiz Feedback and Reading Review		
進め方	This course will use the TOEIC test as a tool for building general English communication skills. The course will focus on building skills and strategies that will not only improve TOEIC scores, but also improve overall English listening and reading comprehension.		
テキスト	Handouts	参考文献	
評価方法	Quizzes:50% Attendance and participation:50%		

総合英語		後期 2 単位	1・2年
		フィリップス (PHILLIPS, J. R.)	
ねらい	This course will use the seven-part TOEIC format to introduce strategies that will help students improve their comprehension of spoken and written English. At the same time, students who make effort can expect a significant improvement in their TOEIC scores.		
授業計画	<p>【後期】</p> 第1回 Course Introduction - TOEIC Part 1 Pictures 第2回 Part 1 Pictures - Part 2 Question and Response 第3回 Part 2 Question and Response - Part 3 Conversations 第4回 Part 3 Conversations - Part 4 Short Talks 第5回 Part 4 Short Talks 第6回 TOEIC Listening Summary and TOEIC Listening Quiz 第7回 Quiz Feedback and Listening Review 第8回 TOEIC Reading - Part 5 Incomplete Sentences 第9回 Part 5 Incomplete Sentences - Part 6 Text Completion 第10回 Part 6 Text Completion -Part 7 Reading Comprehension 第11回 Part 7 Reading Comprehension 第12回 TOEIC Reading Summary and TOEIC Reading Quiz 第13回 Quiz Feedback and Reading Review 第14回 Using TOEIC as part of a long term learning strategy		
進め方	This course will use the TOEIC test as a tool for building general English communication skills. The course will focus on building skills and strategies that will not only improve TOEIC scores, but also improve overall English listening and reading comprehension.		
テキスト	Handouts	参考文献	
評価方法	Quizzes:50% Attendance and participation:50%		

総合英語		前期 2 単位	1・2年
TOEICリーディングを解くスキル		飯野 義一（いいの よしかず）	
ねらい	出題タイプごとにTOEICリーディングを「解くスキル」を学び、同時に英語の読解力を付けます。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 ガイダンスとTOEICの概要 第2回 英語発音の基礎 第3回 TOEICリーディング小模範試験（1） 第4回 同じような意味を持つ名詞、同じような意味を持つ動詞 第5回 語形、時制 第6回 修飾語句、前置詞 第7回 代名詞、接続詞 第8回 名詞を問う問題、動詞を問う問題 第9回 時間を問う問題、人物を問う問題 第10回 WH疑問文、質問の3タイプ 第11回 全体を問う問題、詳細を問う問題 第12回 推測して答える問題、同じような意味を持つ語 第13回 二つの文章を読む問題（1）（2） 第14回 TOEICリーディング小模範試験（2） 第15回 期末試験		
進め方	第2回に米語母音を中心に発音とフォニックスの初歩を速習。第3回にTOEICリーディング小模範試験を行う。第4回以降は出題タイプごとの問題文を意味の固まりで区切り、その区切りごとに逆戻りせずに音読と訳出。第14回に再びTOEIC小模範試験を行い、解き方が変わったことを確認。毎回の授業でポキャブラリーを中心にミニテストをします。		
テキスト	Vital Skills for the TOEIC Test: Reading	参考文献	“Instant Vocabulary” または「ビジネス英単語倍増法」
評価方法	出席:20% 平常ミニテスト:30% 期末試験:50%		

総合英語		後期 2 単位	1・2年
TOEICリーディングを解くスキル		飯野 義一（いいの よしかず）	
ねらい	出題タイプごとにTOEICリーディングを「解くスキル」を学び、同時に英語の読解力を付けます。		
授業計画	<p>【後期】</p> 第1回 ガイダンスとTOEICの概要 第2回 英語発音の基礎 第3回 TOEICリーディング小模範試験（1） 第4回 同じような意味を持つ名詞、同じような意味を持つ動詞 第5回 語形、時制 第6回 修飾語句、前置詞 第7回 代名詞、接続詞 第8回 名詞を問う問題、動詞を問う問題 第9回 時間を問う問題、人物を問う問題 第10回 WH疑問文、質問の3タイプ 第11回 全体を問う問題、詳細を問う問題 第12回 推測して答える問題、同じような意味を持つ語 第13回 二つの文章を読む問題（1）（2） 第14回 TOEICリーディング小模範試験（2） 第15回 期末試験		
進め方	第2回に米語母音を中心に発音とフォニックスの初歩を速習。第3回にTOEICリーディング小模範試験を行う。第4回以降は出題タイプごとの問題文を意味の固まりで区切り、その区切りごとに逆戻りせずに音読と訳出。第14回に再びTOEIC小模範試験を行い、解き方が変わったことを確認。毎回の授業でポキャブラリーを中心にミニテストをします。		
テキスト	Vital Skills for the TOEIC Test: Reading	参考文献	“Instant Vocabulary” または「ビジネス英単語倍増法」
評価方法	出席:20% 平常ミニテスト:30% 期末試験:50%		

実務英語		通年 4 単位	2年
ビジネス英語入門		飯野 義一 (いいの よしかず)	
ねらい	ビジネスの様々な局面に英語で対応できるようになることを目指します。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 英語発音の基礎 第3回 手紙 第4回 ファックス 第5回 電子メール 第6回 電話 第7回 面会の申し入れ 第8回 ホテルの予約 第9回 オフィスの移転通知、支店の開設案内 第10回 レセプションへの招待 第11回 アンケートの回答依頼 第12回 資料の送付依頼 第13回 慶弔 第14回 会議の通知 第15回 前期試験	【後期】 第1回 議事録 第2回 物品の購入 第3回 社内研修の案内、社外研修の報告 第4回 日程の中間報告 第5回 引合い(1) 第6回 引合い(2) 第7回 注文 第8回 注文(続き) 第9回 代金の回収 第10回 クレームと調整 第11回 履歴書 第12回 応募の手紙 第13回 推薦状、面接 第14回 面接結果の通知 第15回 後期試験	
進め方	第2回に米語母音を中心に発音とフォニックスの初歩を速習。第3回以降はビジネス文を意味の固まりで区切り、その区切りごとに逆戻りせずに音読と訳出をしていきます。毎回の授業でボキャブラリーを中心にミニテストをします。		
テキスト	Essentials of Global Business English	参考文献	“Instant Vocabulary” または「ビジネス英単語倍増法」
評価方法	出席:20% 平常ミニテスト:30% 定期試験:50%		

時事英語		通年 4 単位	1・2年
時事英語入門		飯野 義一 (いいの よしかず)	
ねらい	様々な分野の英語ニュースが読解できるようになることを目指します。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 英語発音の基礎 第3回 インド、英語力で開く成功への道 第4回 温暖化問題に朗報? CO2を吸収する海藻 第5回 オバマ対クリントン:日本の勝手運 第6回 街の厄介もの、「パコ(コカイン)」と闘う母親たち 第7回 あなたもメタボ? 第8回 「英国らしさ」でアイデンティティの危機 第9回 ネットカフェ、難民イメージを払拭 第10回 オーストラリア政府、先住民に公式謝罪 第11回 ブログから文学賞へ 第12回 ビレネーの谷、アンドラに吹き荒れる逆風 第13回 北島、平泳ぎで2大会連続2冠を達成 第14回 多民族国家スリナムで国語探し 第15回 前期試験	【後期】 第1回 ブータン、史上初の総選挙 第2回 カイロは毎日が喧騒の渦の中 第3回 海外ブランドのロゴマークに弱い中国の親たち 第4回 サウジの男はラクダにメロメロ 第5回 ミツ星がそれほど好きではない東京 第6回 キューバ、新体制で規制緩和 第7回 万能細胞の研究で日本が一歩リード 第8回 パスポート不要で行き来するヨーロッパ 第9回 緊張緩和? NYフィルが北朝鮮で公演 第10回 スパイしなくてもロシアで商売成功 第11回 フランスとイギリス、和睦する 第12回 人間と共存するロボット 第13回 英字新聞から(記事未定) 第14回 英字新聞から(記事未定) 第15回 後期試験	
進め方	第2回に米語母音を中心に発音とフォニックスの初歩を速習。第3回以降はニュース文を意味の固まりで区切り、その区切りごとに逆戻りせずに音読と訳出をしていきます。毎回の授業でボキャブラリーを中心にミニテストをします。		
テキスト	English through the News Media	参考文献	“Instant Vocabulary” または「ビジネス英単語倍増法」
評価方法	出席:20% 平常ミニテスト:30% 定期試験:50%		

時事英語		通年 4 単位	1・2年
新聞英語の入門講座		高野 嘉明 (たかの よしあき)	
ねらい	英字新聞の記事のうち、日本で直前に起こった、または今起きている最新の出来事を扱っている記事を教材とし、記事の種類、記事の構成、見出し・書き出し・本文の特徴など、英字新聞についての基本的な事柄を学びます。また、各々の記事に関する歴史・社会・文化的背景についても考えます。TOEICのReading部門の対策にもなるでしょう。		
授業計画	【前期】 第1回 前期分のガイダンス 第2回 英字新聞の特徴(1) 第3回 英字新聞の特徴(2) 第4回 新聞記事の構成(1) 第5回 新聞記事の構成(2) 第6回 見出しの特徴：現在形の用法 第7回 見出しの特徴：動詞の省略 第8回 見出しの特徴：冠詞の省略 第9回 見出しの特徴：to不定詞の用法 第10回 見出しの特徴：現在・過去分詞の用法 第11回 見出しの特徴：句読点の用法 第12回 見出しの特徴：省略語の多用 第13回 見出しの特徴：短い語の多用 第14回 前期分のまとめ 第15回 前期定期試験	【後期】 第1回 後期分のガイダンス 第2回 新聞英語の特徴：ハイフンの多用 第3回 新聞英語の特徴：複合語の多用 第4回 新聞英語の特徴：略語・縮語の多用 第5回 新聞英語の特徴：同格表現の多用 第6回 新聞英語の特徴：that節の多用 第7回 新聞英語の特徴：無生物主語の多用 第8回 新聞英語の特徴：所有格の多用 第9回 新聞英語の特徴：分詞構文の多用 第10回 新聞英語の特徴：前置詞の省略 第11回 新聞英語の特徴：能動態の多用 第12回 新聞英語の特徴：動名詞の多用 第13回 新聞英語の特徴：文修飾副詞の多用 第14回 後期分のまとめ 第15回 後期定期試験	
進め方	日本の最新の出来事を扱っている、政治・経済・社会・文化・芸能・スポーツなど様々な種類の記事を教材としますので、毎回、次週分のプリントを配布して予習をしてきてもらい、「授業計画」に示されている各回のテーマを中心にしつつ、記事全体の内容についても細かくみていきたいと思います。		
テキスト	特には使用しません。	参考文献	必要に応じて授業中に適宜紹介します。
評価方法	出席:30% 授業への参加度:10% 前期レポート:10% 後期定期試験:50%		

英文情報処理		前期 2 単位	1・2年
コンピュータ・リテラシー		飯田 千代 (いいだ ちよ)	
ねらい	コンピュータは通信技術の進歩によって、私達の生活に大きな影響を与えている。本講座は、講義とパーソナル・コンピュータを使っての実習を通して、情報処理の基礎的な知識と技術を習得するとともに、科学技術の進歩に必ずつきまとう“光と影”についての理解を目的とする。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス、利用者登録等実習環境準備 第2回 講義：コンピュータの基礎知識 第3回 コンピュータの基本操作 第4回 ワープロ実習（1）文字入力の基礎、文章の編集 第5回 インターネット実習（1） 第6回 インターネット実習（2） 第7回 ワープロ実習（2）文字飾り 第8回 ワープロ実習（3）課題演習 第9回 ワープロ実習（4）課題演習 第10回 ワープロ実習（5）郵便処理 第11回 ワープロ実習（6）課題演習 第12回 画像処理 第13回 ワープロ実習（7）画像の貼り付け 第14回 パワーポイント実習 第15回 課題演習		
進め方	コンピュータの基礎知識に関して講義した後実習に入る。実習では解説に従って実際に操作し、まとめの課題演習をとおして技術を身につける。		
テキスト	情報処理講義（宮田雅智・宮治裕著 同文書院）	参考文献	随時紹介する。
評価方法	実習課題:80% 出席:20%		

英文情報処理		後期 2 単位	1・2年
コンピュータ・リテラシー		飯田 千代 (いいた ちよ)	
ねらい	コンピュータは通信技術の進歩によって、私達の生活に大きな影響を与えている。本講座は、講義とパーソナル・コンピュータを使っての実習を通して、情報処理の基礎的な知識と技術を習得するとともに、科学技術の進歩に必ずつきまとう“光と影”についての理解を目的とする。		
授業計画	【後期】 第1回 ガイダンス、利用者登録等実習環境準備 第2回 講義：コンピュータの基礎知識 第3回 コンピュータの基本操作 第4回 ワープロ実習（1）文字入力の基本、文章の編集 第5回 インターネット実習（1） 第6回 インターネット実習（2） 第7回 ワープロ実習（2）文字飾り 第8回 ワープロ実習（3）課題演習 第9回 ワープロ実習（4）課題演習 第10回 ワープロ実習（5）罫線処理 第11回 ワープロ実習（6）課題演習 第12回 画像処理 第13回 ワープロ実習（7）画像の貼り付け 第14回 パワーポイント実習 第15回 課題演習		
進め方	コンピュータの基礎知識に関して講義した後実習に入る。実習では解説に従って実際に操作し、まとめの課題演習をとおして技術を身につける。		
テキスト	情報処理講義（宮田雅智・宮治裕著 同文書院）	参考文献	随時紹介する。
評価方法	実習課題：80% 出席：20%		

英文情報処理		前期 2 単位	1・2年
英語を学ぶ人の情報処理入門		齋藤 真弓 (さいとう まゆみ)	
ねらい	英語を学ぶ人達にとって、コンピュータは英文ワープロ、電子メールの利用、インターネットによる情報検索・収集など限りなく利用価値がある。本講座は英文文書作成に關しての知識を学び、日本語ワープロ、パワーポイント等を使って英文文書の作成方法を実習する。また英文のタッチタイピングを学ぶこともできる。		
授業計画	【前期】 第1回 コンピュータ基礎1 学内外からの利用・メールの設定 第2回 コンピュータ基礎2 ファイル操作 Touch Typing練習 第3回 英文の入力（短文） Punctuation Rule 第4回 英文の入力（長文） Paragraph 行間隔 テスト 第5回 英文・日本語の作成 (The Bridges of Madison County) 第6回 インターネット・情報検索 (Oscar Wilde' s epigrams) 第7回 英文の校正記号 表の作成 図の利用 第8回 テンプレートの利用 Office Memo 第9回 英文ビジネスレターの知識1 Business Letter Format 第10回 英文ビジネスレターの知識2 Personal Business Letter 第11回 英文レポート作成の知識 Footnotes 英語の略語 第12回 パワーポイントの基礎 第13回 エクセルを使った表計算基礎（関数やグラフ） 第14回 エクセルを使った表計算（英文） 第15回 授業のまとめ		
進め方	キーボードを見ないで入力する方法（タッチタイピング）実習は小テストを行いながら、効率よく進めていく。毎回新しい課題を行い、進度は速いが、必ず力がつくので頑張りしてほしい。課題はすべて添削して返却する。受講学生への連絡は、電子メールにより行い、授業外の時間でも質問などを受付ける。		
テキスト	『Wordでつくる英文文書+PowerPoint』（同友館）	参考文献	『ウェブスター ビジネス英語事典』（研究社出版）
評価方法	実習課題：60% テスト：30% 平常点：10%		

英文情報処理		後期 2 単位	1・2年
英語を学ぶ人の情報処理入門		齋藤 真弓（さいとう まゆみ）	
ねらい	英語を学ぶ人達にとって、コンピュータは英文ワープロ、電子メールの利用、インターネットによる情報検索・収集など限りなく利用価値がある。本講座は英文文書作成についての知識を学び、日本語ワープロ、パワーポイント等を使って英文文書の作成方法を実習する。また英文のタッチタイピングを学ぶこともできる。		
授業計画	<p>【後期】</p> <p>第1回 コンピュータ基礎1 学内外からの利用・メールの設定</p> <p>第2回 コンピュータ基礎2 ファイル操作 Touch Typing練習</p> <p>第3回 英文の入力(短文) Punctuation Rule</p> <p>第4回 英文の入力(長文) Paragraph 行間隔 テスト</p> <p>第5回 英文・日本語の作成 (The Bridges of Madison County)</p> <p>第6回 インターネット・情報検索 (Oscar Wilde' s epigrams)</p> <p>第7回 英文の校正記号 表の作成 図の利用</p> <p>第8回 テンプレートの利用 Office Memo</p> <p>第9回 英文ビジネスレターの知識1 Business Letter Format</p> <p>第10回 英文ビジネスレターの知識2 Personal Business Letter</p> <p>第11回 英文レポート作成の知識 Footnotes 英語の略語</p> <p>第12回 パワーポイントの基礎</p> <p>第13回 エクセルを使った表計算基礎(関数やグラフ)</p> <p>第14回 エクセルを使った表計算(英文)</p> <p>第15回 授業のまとめ</p>		
進め方	キーボードを見ないで入力する方法(タッチタイピング)実習は小テストを行いながら、効率よく進めていく。毎回新しい課題を行い、進度は速いが、必ず力がつくので頑張ってもらいたい。課題はすべて添削して返却する。受講学生への連絡は、電子メールにより行い、授業外の時間でも質問などを受付ける。		
テキスト	『Wordでつくる英文文書+PowerPoint』(同友館)	参考文献	『ウェブスター ビジネス英語事典』(研究社出版)
評価方法	実習課題:60% テスト:30% 平常点:10%		